付則 ８　　様式集

提　出　書　類　一　覧　表

いわき市水道局契約規程（以下「契約規程」）　という。
いわき市水道局元請・下請関係適正化指導要領（以下「局元下要綱」）という。
福島県工事請負契約約款（以下「福工約款」）という。
福島県元請・下請関係適正化指導要領（以下「福元下要綱」）という。

いわき市水道局工事請負契約約款で定める書式				
頁	約款 関係条項	書式名	適　　用	提出期限
省略	第１条	工事説明書	（資料配布の際提示）	
省略	第１条	質問回答書	（別途受付期間内での受付回答）	
1	第３条	工事費内訳明細書 (法定福利費、算出根拠の見積書)	契約規程第30条関係（第19号様式）	契約締結後14日以内
2	第３条	工事工程表	契約規程第30条関係（第20号様式）	契約締結後14日以内
省略	第５条	承認申請書（権利義務の譲渡）	福工約款第３号様式を準用	
省略	第５条	承諾書（権利義務の譲渡）	福工約款第４号様式を準用	
3	第７条	下請通知書	局元下要綱第10条関係（第１号様式）	下請負契約締結後14日以内
4		（削除）	（削除）	（削除）
5	第７条	下請負報告書	局元下要綱第11条関係（第２号様式）	しゅん工届提出時
6・7	第７条	施工体制台帳	福元下要綱参考様式第3号を準用	施工計画書提出時
8	第７条	施工体系図	福元下要綱参考様式第1号を準用	施工計画書提出時
9	第７条	工事担当技術者台帳	福元下要綱参考様式第4号を準用	施工計画書提出時
10・11	第７条	再下請負通知書	福元下要綱参考様式第5号を準用	施工計画書提出時
12～14	第７条	施工体制台帳チェックリスト	福元下要綱参考様式第6号を準用	施工計画書提出時
15	第９条 第１・３項	監督員通知書	第１号様式	
16	第11条	工事現況報告書	契約規程第32条関係（第22号様式）	月末締切、月初提出
17	第９条 第２・４項	確認・立会願	福工約款第８号様式を準用	
18	第９条 第２・４項	工事打合せ簿（提出・協議・承諾等）	福工約款第10号様式を準用	
19・20	第10条 第１・４項	現場代理人及び 主任技術者等通知書	契約規程第33・34条関係（第23号様式）履歴書も含む	
21・22	第13条	工事材料検査願	契約規程第39条関係（第26号様式）	
23・24	第15条	支給材料受領書	契約規程第40条関係（第27号様式）	
25	第15条	支給材料受払簿	契約規程第40条関係（第28号様式）	
26・27	第15条	支給材料受払精算書	契約規程第40条関係（第29号様式）	
28	第15条	貸与品借用書	福工約款第17号様式を準用	
29・30	第15条	貸与品返納書	福工約款第18号様式を準用	
31	第20条	水道工事一時（一部）中止について	福工約款第19号様式を準用	

提　出　書　類　一　覧　表

いわき市水道局契約規程（以下「契約規程」）　という。
いわき市水道局元請・下請関係適正化指導要領（以下「局元下要綱」）という。
福島県工事請負契約約款（以下「福工約款」）という。
福島県元請・下請関係適正化指導要領（以下「福元下要綱」）という。

頁	約款 関係条項	書式名	適　　用	提出期限
32	第20条	水道工事一時（一部）中止の解除について	福工約款第19号様式を準用	
33	第21条	工期延長承認願	契約規程第45条関係（第31号様式）	
34	第21条	工期延長決定通知書	契約規程第45条関係（第32号様式）	
省略	第22条	工期短縮承認願	任意の様式	
省略	第22条	工期短縮決定通知書	任意の様式	
省略	第22条 第１項	請負工事被害報告書	福工約款第21号様式を準用	
省略	第22条 第２項	請負工事被害確認書	福工約款第22号様式を準用	
省略	第22条 第３項	損害負担申請書	福工約款第23号様式を準用	
35	第31・38条	しゅん工届	契約規程第52条関係（第33号様式）	
36	第31条 第４項	完成工事物引渡書	契約規程第52条関係（第35号様式）	
37	第31条 第４項	完成工事物受領書	契約規程第52条関係（第35号様式）	
38	第31条 第６項	工事手直し指示書	契約規程第52条関係（第34号様式）	
39	第37条	工事既成部分払申請書	契約規程第60条関係（第38号様式）	
40	第37条	工事既成部分払決定通知書	契約規程第60条関係（第39号様式）	
いわき市水道局水道施設工事共通仕様書　総則で定める書式				
―		施工計画書	仕様書1.1.6	着手日前、必要の都度
―		登録内容確認書	仕様書1.1.7	受注・変更・完成時
省略		再生資源利用計画書・実施書 再生資源利用促進計画書・実施書	仕様書1.4.10 県共通仕様書（土木工事編） 建設ﾘｻｲｸﾙｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ１～５準用	計画書は施工計画書に含め提出 実施書はしゅん工届の提出時
41		建設業退職金共済制度実績報告書	仕様書1.1.37	しゅん工届の提出時
42		着工届	契約規程第31条関係（第21号様式）	契約締結の日から ４日以内
43		建設産業廃棄物処理報告書	仕様書1.4.10（ﾏﾆﾌｪｽﾄＥ票ｺﾋﾟｰ添付）	しゅん工届の提出時
44		資材受払簿	仕様書1.1.21 福工約款第30号様式を準用	しゅん工届の提出時
45・46		社内検査記録	仕様書1.1.19 福工約款第100号様式を準用	しゅん工届の提出時
省略		工事写真	仕様書1.4.15 福工約款第94号様式を準用 部数については監督員の指示による	しゅん工届の提出時

提　出　書　類　一　覧　表

いわき市水道局契約規程（以下「契約規程」）　という。
いわき市水道局元請・下請関係適正化指導要領（以下「局元下要綱」）という。
福島県工事請負契約約款（以下「福工約款」）という。
福島県元請・下請関係適正化指導要領（以下「福元下要綱」）という。

―		竣工図：紙 （平面、管割、縦横断、掘削、舗装展開図等）	仕様書1.4.16 竣工図は、局竣工図作成要領に基づき作成するものとし、図面の種類及び部数については監督員の指示による	しゅん工届の提出時
―		竣工図：電子データ （平面、ｵﾌｾｯﾄ、管割、縦横断図等）	仕様書1.4.16 図面の種類及び部数、データ形式、提出方法については監督員の指示による	しゅん工届の提出時

いわき市水道局水道施設工事共通仕様書　品質管理で定める書式

頁	約款 関係条項	書式名	適　　用	提出期限
47		継手チェックシート （ＤＩＰ-Ｋ形）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
48		継手チェックシート （ＤＩＰ-ＮＳ形　φ75～250）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
49		継手チェックシート （ＤＩＰ-ＮＳ形　φ300～450）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
50		継手チェックシート （ＤＩＰ-ＮＳ形継輪　φ75～450）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
51		継手チェックシート （ＤＩＰ-ＮＳ形直管　φ500～1000）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
52		継手チェックシート（ＤＩＰ－ＮＳ形直管ﾗｲﾅｰ・異形管　φ500～1000）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
53		継手チェックシート （ＤＩＰ-ＮＳ形継輪　φ500～1000）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
54		継手チェックシート （ＤＩＰ-ＧＸ形直管　φ75～400）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
55		継手チェックシート （ＤＩＰ-ＧＸ形異形管　φ75～400）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
56		継手チェックシート （ＤＩＰ-ＧＸ形継輪　φ75～400）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
57		継手チェックシート （ＤＩＰ-フランジ形）メタルタッチ	仕様書3.5.6	しゅん工届の提出時
58		継手チェックシート （ＤＩＰ-ＵＳ形）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
59		継手チェックシート （ＤＩＰ-ＵＦ形）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
60		継手チェックシート （ＤＩＰ-ＰＮ形）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
61		継手チェックシート （ＲＲＨＩＶＰ）	仕様書3.5.6	しゅん工届の提出時
62		GX形　管端防食キャップ チェックシート	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
63		鋼管現場溶接部の 出来形チェックシート	仕様書3.6.6	しゅん工届の提出時
64		継手チェックシート （ＤＩＰ-Ｓ５０形直管）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
65		継手チェックシート （ＤＩＰ-Ｓ５０形異形管・切管）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
66		継手チェックシート （ＤＩＰ-Ｓ５０形継輪）	仕様書3.4.9	しゅん工届の提出時
67		ＥＦ継手接合チェックシート	仕様書3.5.6	しゅん工届の提出時

提　出　書　類　一　覧　表

いわき市水道局契約規程（以下「契約規程」）　という。
いわき市水道局元請・下請関係適正化指導要領（以下「局元下要綱」）という。
福島県工事請負契約約款（以下「福工約款」）という。
福島県元請・下請関係適正化指導要領（以下「福元下要綱」）という。

68		ＥＦサドル接合チェックシート	仕様書3.5.6	しゅん工届の提出時
69		ＥＦコントローラ・専用工具 日常点検チェックシート	仕様書3.5.6	しゅん工届の提出時
いわき市水道局水道施設工事共通仕様書　写真管理で定める書式				
70・71		水圧試験記録	仕様書3.1.6	工事写真に含め しゅん工届の提出時
いわき市水道局水道施設工事共通仕様書　参考様式				
72		建設業退職金共済済証紙 購入状況報告書	仕様書1.1.37	当初は工程表と共に 追加はその都度
73		出来形管理報告書（表紙）	仕様書1.1.24 県共通仕様書第51号様式を準用	しゅん工届の提出時
74		品質管理報告書（表紙）	仕様書1.1.24 県共通仕様書第53号様式を準用	しゅん工届の提出時
75		保菌検査報告書	仕様書1.2.7	着手前
76		安全管理総括表	仕様書1.2.8	しゅん工届の提出時
77		照査項目チェックリスト	仕様書1.1.4	施工前及び施工途中
78・79		電子納品事前協議チェックシート （土木工事用）	いわき市電子納品実施要領	着手日前、必要の都度
80・81		納品時チェックシート （土木工事用）	いわき市電子納品実施要領	監督員作成
82		電子媒体納品書	いわき市電子納品実施要領	しゅん工届の提出時
83		工事現場等における事故発生報告書	仕様書1.2.5	必要の都度

工　事　費　内　訳　明　細　書

商号又は名称

工　事　名	工事場所	工　　期（予定）
		令和　　年　　月　　日から 令和　　年　　月　　日まで

名　　称	名 称 内 容	材　　料 （労　　力）	形 状 寸 法	数　量	単位	単　価	金　　額	摘　　要
直接工事費								
共通仮設費								
現場管理費								
一般管理費等								
工事費　計								入札金額
消費税				10	%			円未満切捨て
合計								

（工事価格のうち、現場労働者に関する健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の事業主負担額 ○○○○円）

（R7.4.1版）

第20号様式（第30条関係）

工　事　工　程　表

令和　　年　　月　　日　提出

工事名	工事場所	受注者

確認欄	請負金額	契約工期
年　月　日 監督員職氏名		令和　年　月　日から 令和　年　月　日まで

工程 / 工事の種類	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20

（R7.4.1版）

第1号様式（第10条関係）

下　請　通　知　書

令和　　年　　月　　日

いわき市水道事業管理者　　様

所　在　地
商号及び名称
代　表　者

工事名				契約年月日	令和　　年　　月　　日
受注元請負人	番号1	商号及び名称			
		代表者			
		下請指導責任者			
		請負金額			直上の元請の番号
下請負人	番号2	商号及び名称			1
		代表者			
		所在地			
		予定工事期間	令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日		
		工事の種類及び内容		現場代理人	
				下請契約金額	円
	番号3	商号及び名称			
		代表者			
		所在地			
		予定工事期間	令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日		
		工事の種類及び内容		現場代理人	
				下請契約金額	円
	番号4	商号及び名称			
		代表者			
		所在地			
		予定工事期間	令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日		
		工事の種類及び内容		現場代理人	
				下請契約金額	円

確認	課長	課長補佐	係長	監督員

（R7.4.1版）

当初　　追加

建設業退職金共済証紙購入状況報告書

令和　　年　　月　　日

いわき市水道事業管理者　　様

住所
受注者
氏名

次のとおり共済証紙を購入したので、当該掛金収納書を貼付して報告します。

<table>
<tr><td>工事番号・工事名</td><td colspan="3">第　　号
工事</td></tr>
<tr><td>工　事　場　所</td><td colspan="3">いわき市　　地内</td></tr>
<tr><td>請　負　金　額</td><td>円</td><td>変　更　請　負　金　額</td><td>円</td></tr>
<tr><td>契　約　年　月　日</td><td>令和　年　月　日</td><td>変　更　契　約　年　月　日</td><td>令和　年　月　日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">購入額算出式</td><td colspan="2">土木工事
請負金額（税抜額）　×　$\frac{2}{1,000}$　=</td><td rowspan="2">円</td></tr>
<tr><td colspan="2">水道・建築・設備工事
請負金額（税抜額）　×　$\frac{1.5}{1,000}$　=</td></tr>
<tr><td>当初共済証紙購入額</td><td>15,000　円</td><td>追加共済証紙購入額</td><td>円</td></tr>
<tr><td colspan="4">掛金収納書（発注官公庁用）貼付欄</td></tr>
</table>

第2号様式（第11条関係）

下　請　負　報　告　書

令和　　年　　月　　日

いわき市水道事業管理者　　様

所　在　地
商号又は名称
代　表　者

1　局工事請負契約の状況

工事番号	第　　号	工　期	～	請負金額受領状況			
				月日	金　額	月日	金　額
工事名又は事業名		工事種別			千円		千円
地区名		工事箇所					
契約額	千円						

発注課等名	

2　下請発注状況

元請負人	商号又は名称		代表者	
下請負人	商号又は名称		代表者	

契約月日		契約書等の有無	有	契約書		代金支払状況					
						月日	金額	現金手形の別	月日	金額	現金手形の別
工期	自 至			下請基本契約書注文書			千円			千円	
金額	千円			注文書							
工種			無								
完成	月　日	検査	月　日	引渡し	月　日						

元請負人	商号又は名称		代表者	
下請負人	商号又は名称		代表者	

契約月日		契約書等の有無	有	契約書		代金支払状況					
						月日	金額	現金手形の別	月日	金額	現金手形の別
工期	自 至			下請基本契約書注文書			千円			千円	
金額	千円			注文書							
工種			無								
完成	月　日	検査	月　日	引渡し	月　日						

元請負人	商号又は名称		代表者	
下請負人	商号又は名称		代表者	

契約月日		契約書等の有無	有	契約書		代金支払状況					
						月日	金額	現金手形の別	月日	金額	現金手形の別
工期	自 至			下請基本契約書注文書			千円			千円	
金額	千円			注文書							
工種			無								
完成	月　日	検査	月　日	引渡し	月　日						

確認	課　長	課長補佐	係　長	監督員

（R7.4.1版）

参考様式第3号の１（施工体制台帳）　　令和　　年　　月　　日

施 工 体 制 台 帳

［会社名・事業者ID］＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

［事業所名・現場ID］＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

	許可業種	許可番号	許可（更新）年月日
建設業の許可	工事業	大臣 特定 知事 一般　第　号	年　月　日
	工事業	大臣 特定 知事 一般　第　号	年　月　日

工事番号	第　号		
工事名称及び工事内容			
発注者名及び住所	〒		
工期	自　年　月　日 至　年　月　日	契約日	年　月　日

	区分	名称	住所
契約営業所	元請契約		
	下請契約		

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険
		加入　未加入 適用除外		加入　未加入 適用除外		加入　未加入 適用除外
	事業所整理記号等	区分	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険
		元請契約				
		下請契約				

発注者の監督員名		権限及び意見申出方法	

監督員名		権限及び意見申出方法	
現場代理人名		権限及び意見申出方法	
監理（主任）技術者名		資格内容	
監理技術者補佐名	専任 非専任	資格内容	
専門技術者名		専門技術者名	
資格内容		資格内容	
担当工事内容		担当工事内容	

一号特定技能外国人の従事の状況（有無）	有　無	外国人建設就労者の従事の状況（有無）	有　無	外国人技能実習生の従事の状況（有無）	有　無

（R7.4.1版）

参考様式第3号の2（施工体制台帳）

《下請負人に関する事項》

会社名・ 事業者ID		代表者名	
住所 電話番号	〒 (TEL　　－　　－　　)		
工事番号	第　　号	下請契約金額	
工事名称 及び 工事内容			
工期	自　　年　　月　　日 至　　年　　月　　日	契約日	年　　月　　日

建設業の 許可	施工に必要な許可業種	許可番号	許可（更新）年月日
	工事業	大臣　特定 知事　一般　　第　　号	年　　月　　日
	工事業	大臣　特定 知事　一般　　第　　号	年　　月　　日

健康保険等 の加入状況	保険加入 の有無	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	
		加入　未加入 適用除外	加入　未加入 適用除外	加入　未加入 適用除外	
	事業所 整理記号等	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険

現場代理人名	
権限及び 意見申出方法	
主任技術者名	専　任 非専任
資格内容	

安全衛生責任者名	
安全衛生推進者名	
雇用管理責任者名	
専門技術者名	
資格内容	
担当工事内容	

一号特定技能外国人の 従事の状況(有無)	有　　無	外国人建設就労者の 従事の状況(有無)	有　　無	外国人技能実習生の 従事の状況(有無)	有　　無

(R7.4.1版)

参考様式第１号（施工体系図）

工事作業所災害防止協議会兼施工体系図

発注者名	
工事番号	第　　号
工事名称	

工期	自	年　月　日
	至	年　月　日

元請名・事業者ID	
監督員名	
監理技術者名	
監理技術者補佐名	
専門技術者名	
担当工事内容	
専門技術者名	
担当工事内容	

元方安全衛生管理者

会長	総括安全衛生責任者

副会長	

書記*

（注）一次下請人となる警備会社については、商号又は名称、現場責任者名、業務期間を記入する。

次下請

工事	会社名・事業者ID		
	代表者名		
	許可番号	大臣　特定	第000000号
	安全衛生責任者		
	主任技術者		
	特定専門工事の該当	有　・　無	
	専門技術者		
	担当工事内容		
工期	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日		

次下請

工事	会社名・事業者ID		
	代表者名		
	許可番号	大臣　特定	第000000号
	安全衛生責任者		
	主任技術者		
	特定専門工事の該当	有　・　無	
	専門技術者		
	担当工事内容		
工期	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日		

次下請

工事	会社名・事業者ID		
	代表者名		
	許可番号	大臣　特定	第000000号
	安全衛生責任者		
	主任技術者		
	特定専門工事の該当	有　・　無	
	専門技術者		
	担当工事内容		
工期	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日		

次下請

工事	会社名・事業者ID		
	代表者名		
	許可番号	大臣　特定	第000000号
	安全衛生責任者		
	主任技術者		
	特定専門工事の該当	有　・　無	
	専門技術者		
	担当工事内容		
工期	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日		

次下請

工事	会社名・事業者ID		
	代表者名		
	許可番号	大臣　特定	第000000号
	安全衛生責任者		
	主任技術者		
	特定専門工事の該当	有　・　無	
	専門技術者		
	担当工事内容		
工期	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日		

次下請

工事	会社名・事業者ID		
	代表者名		
	許可番号	大臣　特定	第000000号
	安全衛生責任者		
	主任技術者		
	特定専門工事の該当	有　・　無	
	専門技術者		
	担当工事内容		
工期	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日		

次下請

工事	会社名・事業者ID		
	代表者名		
	許可番号	大臣　特定	第000000号
	安全衛生責任者		
	主任技術者		
	特定専門工事の該当	有　・　無	
	専門技術者		
	担当工事内容		
工期	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日		

次下請

工事	会社名・事業者ID		
	代表者名		
	許可番号	大臣　特定	第000000号
	安全衛生責任者		
	主任技術者		
	特定専門工事の該当	有　・　無	
	専門技術者		
	担当工事内容		
工期	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日		

次下請

工事	会社名・事業者ID		
	代表者名		
	許可番号	大臣　特定	第000000号
	安全衛生責任者		
	主任技術者		
	特定専門工事の該当	有　・　無	
	専門技術者		
	担当工事内容		
工期	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日		

（R7.4.1版）

参考様式第4号（工事担当技術者台帳）

工事担当技術者台帳

元請会社名	
監理技術者名 主任技術者名	
生年月日	
写真添付欄	

会社名	
主任技術者名	
生年月日	
専任・非専任	
写真添付欄	

会社名	
主任技術者名	
生年月日	
専任・非専任	
写真添付欄	

会社名	
主任技術者名	
生年月日	
専任・非専任	
写真添付欄	

会社名	
主任技術者名	
生年月日	
専任・非専任	
写真添付欄	

会社名	
主任技術者名	
生年月日	
専任・非専任	
写真添付欄	

会社名	
主任技術者名	
生年月日	
専任・非専任	
写真添付欄	

会社名	
主任技術者名	
生年月日	
専任・非専任	
写真添付欄	

会社名	
主任技術者名	
生年月日	
専任・非専任	
写真添付欄	

会社名	
主任技術者名	
生年月日	
専任・非専任	
写真添付欄	

会社名	
主任技術者名	
生年月日	
専任・非専任	
写真添付欄	

会社名	
主任技術者名	
生年月日	
専任・非専任	
写真添付欄	

【注意事項】

※　添付する写真は、
　縦　　3cm
　横　　2.5cm
　程度の大きさとし、
　顔が判別できるものとする。

※　本様式は、2部作成し、
　1部保管し、1部提出する。
　ただし、カラーコピーもしくは
　デジタルカメラ写真を印刷し
　たものを提出してもよい。

（R7.4.1版）

様式④-1　　令和　　年　　月　　日

参考様式第5号（再下請通知書）

再　下　請　負　通　知　書

【報告下請負業者】

直近上位の
注文者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

TEL＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

FAX＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

会社名・
事業者ID＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

代表者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

元請名称 事業者ID （局から工事を請け負った元請）	

《自社に関する事項》

工事名称及び工事内容			
工期	自　　年　　月　　日 至　　年　　月　　日	注文者との契約日	年　　月　　日

建設業の許可	施工に必要な許可業種	許可番号	許可（更新）年月日
	工事業	大臣 特定 知事 一般 （ － ） 第　　号	年　　月　　日
	工事業	大臣 特定 知事 一般 （ － ） 第　　号	年　　月　　日

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	
		加入　未加入 適用除外	加入　未加入 適用除外	加入　未加入 適用除外	
	事業所整理記号等	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険

監督員名		安全衛生責任者名	
権限及び意見申出方法		安全衛生推進者名	
現場代理人名		雇用管理責任者名	
権限及び意見申出方法		専門技術者名	
主任技術者名	専任 非専任	資格内容	
資格内容		担当工事内容	

一号特定技能外国人の従事の状況（有無）	有　　無	外国人建設就労者の従事の状況（有無）	有　　無	外国人技能実習生の従事の状況（有無）	有　　無

（R7.4.1版）

様式④-2

《再下請負関係》

再下請負業者及び再下請負契約関係について次のとおり報告いたします。

会　社　名		代 表 者 名	
住　　所 電 話 番 号			
工 事 名 称 及　　び 工 事 内 容			
工　　期	自　　年　　月　　日 至　　年　　月　　日	契　約　日	年　　月　　日

建 設 業 の 許　　可	施工に必要な許可業種	許　可　番　号	許可（更新）年月日
	工事業	大臣　特定 知事　一般　　第　　号	年　　月　　日
	工事業	大臣　特定 知事　一般　　第　　号	年　　月　　日

健康保険等 の加入状況	保険加入 の有無	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	
		加入　未加入 適用除外	加入　未加入 適用除外	加入　未加入 適用除外	
	事業所 整理記号等	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険

現場代理人名	
権限及び 意見申出方法	
主任技術者名	専　任 非専任
資格内容	

安全衛生責任者名	
安全衛生推進者名	
雇用管理責任者名	
専門技術者名	
資格内容	
担当工事内容	

一号特定技能外国人の 従事の状況（有無）	有　　無	外国人建設就労者の 従事の状況（有無）	有　　無	外国人技能実習生の 従事の状況（有無）	有　　無

※再下請通知書の添付書類（建設業法施行規則第１４条の４第３項）

・再下請通知人が再下請人と締結した当初契約及び変更契約の契約書面の写し（公共工事以外の建設工事について締結されるものに係るものは、請負代金の額に係る部分を除く）

（R7.4.1版）

参考様式第6号（施工体制台帳確認事項）

施工体制台帳チェックリスト(1/3)

1 施工体制台帳に必要事項が書き込まれているか（建設業法施行規則第１４条の２）

	確認事項	チェック
(1)	作成建設業者が許可を受けた建設業の種類	
(2)	建設工事の名称、内容及び工期	
(3)	発注者と請負契約を締結した年月日、当該発注者の商号、名称又は氏名及び住所並びに当該請負契約を締結した営業所の名称及び所在地	
(4)	発注者が監督員を置くときは、当該監督員の氏名及び権限、当該監督員の行為についての作成建設業者の発注者に対する意見の申出方法（又はその内容が記載された作成特定建設業者への通知書の写し）	
(5)	監理技術者の氏名、その者が有する監理技術者資格及びその者が専任の監理技術者であるか否かの別	
(6)	作成建設業者が現場代理人を置くときは、当該現場代理人の氏名及び権限、当該現場代理人の行為についての発注者の作成建設業者に対する意見の申出方法（又はその内容が記載された発注者への通知書の写し）	
(7)	監理技術者以外に施工の技術上の管理をつかさどる者を置くときは、その者の氏名、管理を司る工事内容及びその者が有する主任技術者資格	
(8)	下請負人の商号又は名称及び住所、許可番号及び請け負った建設工事に係る許可を受けた建設業の種類	
(9)	全ての下請負人の請け負った工事名称、内容及び工期	
(10)	全ての下請負人が注文者と下請契約を締結した年月日	
(11)	作成建設業者が監督員を置くときは、当該監督員の氏名及び権限、当該監督員の行為についての下請負人の作成建設業者に対する意見の申出方法（又はその内容を記載した下請人に対する通知書の写し）	
(12)	下請負人が現場代理人を置くときは、当該現場代理人の氏名及び権限、当該現場代理人の行為について作成建設業者の下請負人に対する意見の申出方法（又はその内容を記載した作成建設業者への通知書の写し）	
(13)	下請負人が置く主任技術者の氏名、その者の有する主任技術者資格及びその者が専任か否かの別	
(14)	下請負人が、主任技術者以外に施工の技術上の管理を司る者を置く場合は、当該者の氏名、その者が司る工事の内容及びその者が有する主任技術者資格	
(15)	１次下請負契約を締結した作成建設業者の営業所の名称及び所在地	

（R7.4.1版）

参考様式第6号（施工体制台帳確認事項）

施工体制台帳チェックリスト(2/3)

2 施工体制台帳の添付書類は揃っているか（建設業法施行規則第１４条の２第２項）

確認事項	チェック
（１） ２次以下の下請負人を含め、全ての請負契約書の写し（公共工事については２次下請以下も含めた全ての下請業者について請負金額を明記しなければならない。）	
下請契約書に法第１９条にある全ての事項が含まれているか	
ア 工事内容	
イ 請負代金の額	
ウ 工事着手の時期及び工事完成の時期	
エ 請負代金の全部又は一部の前金払又は出来形部分に対する支払の定めをするときは、その支払の時期及び方法	
オ 当事者の一方から設計変更又は工事着手の延期若しくは工事の全部若しくは一部の中止の申出があった場合における工期の変更、請負代金の額の変更又は損害の負担及びそれらの額の算定方法に関する定め	
カ 天災その他不可抗力による工期の変更又は損害の負担及びその額の算定方法に関する定め	
キ 価格等の変動若しくは変更に基づく請負代金の額又は工事内容の変更	
ク 工事の施工により第三者が損害を受けた場合における賠償金の負担に関する定め	
ケ 注文者が工事に使用する資材を提供し、又は建設機械その他の機械を貸与するときは、その内容及び方法に関する定め	
コ 注文者が工事の全部又は一部の完成を確認するための検査の時期及び方法並びに引渡しの時期	
サ 工事完成後における請負代金の支払いの時期及び方法	
シ 工事の目的物の瑕疵を担保すべき責任又は当該責任の履行に関して講ずべき保証保険契約の締結その他の措置に関する定めをするときは、その内容	
ス 各当事者の履行の遅滞その他債務の不履行の場合における遅延利息、違約金その他の損害金	
セ 契約に関する紛争の解決方法	

（R7.4.1版）

参考様式第6号（施工体制台帳確認事項）

施工体制台帳チェックリスト(3/3)

	確認事項	チェック
（２）	全ての再下請通知書	
	再下請通知書の必要事項が書き込まれているか。	
	ア 下請負人の商号、名称、住所、許可番号	
	イ 下請負人が注文者と締結した工事の名称、請負契約を締結した年月日、注文者の商号、名称	
	ウ 再下請負人の商号、名称、住所、許可番号及び請け負った建設工事に係る許可を受けた建設業の種類	
	エ 下請負人が再下請負人と締結した請負契約について	
	工事の名称、内容、工期	
	請負契約を締結した年月日	
	下請負人が監督員を置く場合は、その者の氏名、権限、当該監督員の行為についての再下請負人の下請負人に対する意見の申出方法（またはその内容が記載された再下請負人への通知書の写し）	
	再下請負人が現場代理人を置く場合は、その者の氏名、権限、当該現場代理人の行為についての下請負人の再下請負人に対する意見の申出方法（またはその内容が記載された下請負人への通知書の写し）	
	再下請負人の置く主任技術者の氏名、その者が有する主任技術者資格及びその者が専任か否か	
	再下請負人が主任技術者に加えて専門技術者を置く場合は、その者の氏名、その者が管理をつかさどる建設工事の内容、その者が有する主任技術者資格	
（３）	監理技術者が監理技術者資格を有することの証明書の写し（監理技術者資格者証の写し）	
（４）	監理技術者が直接的かつ恒常的な雇用関係にあることを証明するものの写し（健康保険被保険者証又は住民税特別徴収税額通知書等の写し）	
（５）	監理技術者以外に施工の技術上の管理を司る者を置くときは、その者が主任技術者資格を有することを証する書面及び直接的かつ恒常的な雇用関係にあることを証するものの写し	

（R7.4.1版）

第1号様式（第9条関係）

監 督 員 （ 変 更 ） 通 知 書

第　　号

受注者　　令和　　年　　月　　日

様

いわき市水道事業管理者

印

令和　年　月　日　付けで請負契約を締結した工事について、次のとおり監督員（変更）を定めたのでいわき市水道局工事請負契約約款第９条第１項の規定に基づき、通知します。

工　事　名　　第　　号	
監督員職氏名	所 属 課 等 名

（R7.4.1版）

第22号様式（第32条関係）

工　事　現　況　報　告　書

令和　　年　　月　　日

いわき市水道事業管理者　　様

住 所

受　注　者

氏 名

工 事 名	
工事場所 地内	
工事の進捗状況 □　　日間早い。 □　工程どおり進んでいる。 □　　日遅れている。	契約工期 令和　　年　　月　　日　から 令和　　年　　月　　日　まで 請負代金額　　円 総合出来高 % 月　　日 現在
遅れている理由	
添付書類 工程表、写真	
確認欄 年　　月　　日 監督員職氏名	

係　　長

（R7.4.1版）

＜第8号様式その1・約款9条、14条関係＞

課長	課長補佐	係長	監督員

確　認　書

確 認・立 会 願

令和　　年　　月　　日

下記について確認・立会を願いたい。

請負業者名

現場代理人名

工事名	第　　号　　工事
工事場所	

事　　項	位　　置　　等

確 認・立 会 結 果 書

上記について、確認・立会を実施し確認した。

立会者名

確認・立会年月日	令和　　年　　月　　日
方法	現　地　・　書　類（机上）
結果判定	
指示事項 （記事）	

指示事項等処置完了確認　令和　　年　　月　　日　　監督員

（R7.4.1版）

＜第10号様式・約款9条関係＞

工 事 打 合 せ 簿

発議者	□ 発注者　□ 受注者	発議年月日	
発議者名			
発議事項	□ 指示　□ 協議　□ 通知　□ 承諾　□ 提出　□ 届出　□ その他 （　　）		
工事番号 工事名	第　　号　　工事		
工事場所	いわき市　　地内		

（内容）

協議回答希望期限（受注者記入欄）
令和　年　月　日

添付図　　葉、その他添付図書

処理・回答	発注者	上記について □ 指示　□ 承諾　□ 協議　□ 通知　□ 受理　□ その他　します。 （指示事項・協議結果等　　）		
		監督員	課・工事事務所	令和　年　月　日
	受注者	上記について □ 了解　□ 協議　□ 提出　□ 報告　□ 届出　□ その他　します。 （提出・報告内容等　　）		
		現場代理人		令和　年　月　日

管理者	局長	次長	課長	課長補佐	係長	監督員

現場代理人	主任（監理）技術者

（R7.4.1版）

第23号様式（第33・第34条関係）

当初　　変更

現場代理人及び主任技術者等通知書

令和　　年　　月　　日に契約を締結した、　　（工期　令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日）について、いわき市水道局工事請負契約約款第10条の規定に基づき、本件工事の現場代理人及び主任技術者等（主任技術者又は監理技術者及び監理技術者補佐）を下記のとおり定めたので、別添経歴書を添えて通知します。

いわき市水道事業管理者　様

令和　　年　　月　　日

受注者　　住所

氏名

記

1　現場代理人（通知日現在、現場代理人・主任技術者等になっている他の工事については、裏面の一覧表のとおりです。）

氏　　名	権　　限
	1　約款10条第２項に規定する権限のすべて
（　年　月　日 生）	2　上記のうち　　を除く

（注）　1　該当する事項の番号を○で囲むこと。
2　建設業法上の営業所の専任技術者である者は現場代理人にはなれない。
3　現場代理人の常駐義務の緩和を承認された場合を除き、現場代理人は工事現場に常駐する必要がある。
（他の工事において現場代理人である者、主任技術者等である者は、当該工事の現場代理人になれない場合がある。）

2　主任技術者又は監理技術者及び監理技術者補佐（通知日現在、主任技術者になっている他の工事については、裏面の一覧表のとおりです.）

施工形態		技術者				
		区分	氏　名	役職	資格の名称	
1 すべて自社施工する。		主任技術者	（　年　月　日生）			
2 一部下請施工する。		区分	氏　名	役職	資格の名称	資格者証番号
下請金額区分	i 下請総額5,000万円未満	主任技術者	（　年　月　日生）			--
	ii 下請総額5,000万円以上	監理技術者	（　年　月　日生）			
		監理技術者補佐	（　年　月　日生）			--

（注）1　「施工形態」の欄は、該当する事項の番号を○で囲むこと。
2　下請総額5,000万円は、建築一式工事の場合は8,000万円となる。
3　監理技術者資格者証の交付を受けている技術者は、その写し（表、裏とも）を添付すること。
4　記載事項に変更が生じた場合には、速やかに再提出すること。（上欄の変更を○で囲むこと。）
5　建設業法上の営業所の専任技術者である者は専任の主任技術者等にはなれない。
6　請負金額が4,500万円（建築一式工事にあっては9,000万円）以上の工事における主任技術者等は、工事現場ごとに専任の者であること。（この場合、他の工事において現場代理人である者、主任技術者等である者は、当該工事の主任技術者等にはなれない。）

《監督員確認欄》

職　　氏名	職　　氏名
現場代理人常駐義務発生日（現場着手日） 年　　月　　日	主任技術者等の専任義務発生日（工事着手日） 年　　月　　日

※以下は請負金額が500万円以上の場合は、施工体制点検によるため記入不要。

職　　氏名		職　　氏名	
確認月日	確　認　結　果	確認月日	確　認　結　果
	現場確認の結果、上記記載事項に相違 1　ない 2　ある		現場確認の結果、上記記載事項に相違 1　ない 2　ある

（R7.4.1版）

［裏面］

当該工事の現場代理人が兼務する工事一覧表

	発　注　者	工　事　名 （施　工　箇　所）	工　期	請負金額	適用区分
当該工事					
他の工事					□近接工事 □10km以内 □少額工事
					□近接工事 □10km以内 □少額工事
					□近接工事 □10km以内 □少額工事
					□近接工事 □10km以内 □少額工事

※上記に記載した「他の工事」がいわき市水道局発注工事の場合は、「他の工事」の監督員へ写しを提出すること。

当該工事の主任技術者が管理する工事一覧表

	発　注　者	工　事　名 （施　工　箇　所）	工　期	請負金額	適用区分
当該工事					
他の工事					□近接工事 □10km以内 □少額工事
					□近接工事 □10km以内 □少額工事
					□近接工事 □10km以内 □少額工事
					□近接工事 □10km以内 □少額工事

※上記に記載した「他の工事」がいわき市水道局発注工事の場合は、「他の工事」の監督員へ写しを提出すること。

【凡例】

10km以内：　工事の対象となる工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事又は施工にあたり相互に調整を要する工事で、かつ、工事現場間の相互の間隔が10km程度以下の近接した場所において、同一の建設業者により施工される工事

少額工事：【現場代理人】　工事場所が市内で、契約金額4,000万円未満（建築一式工事の場合は8,000万円未満）の工事

【主任技術者等】契約金額4,000万円未満（建築一式工事の場合は8,000万円未満）の工事

（R7.4.1版）

第26号様式（第39条関係）

令和　　年　　月　　日

工 事 材 料 検 査 願

いわき市水道事業管理者　様

住 所

受注者

氏 名

次により使用材料を検査してください。

記

工　事　名					
工 事 場 所	地内				
搬入予定日	品　　名	形状寸法	数量	検査確認	備　　考

検 査 欄　　年　　月　　日

課　　係

監督員職氏名

（R7.4.1版）

〈第26号様式・39条関係〉

搬入予定日	品　　名	形状寸法	数量	検査確認	備　　考

第27号様式（第40条関係）

支 給 材 料 受 領 書

令和　　年　　月　　日

いわき市水道事業管理者　様

住 所

受注者

氏 名

下記により支給材料を受領したので本書を差上げます。

記

工　事　名			
品　　名	形 状 寸 法	数　　量	適　　用

（R7.4.1版）

第27号様式（40条関係）

品　　名	形　状　寸　法	数　　量	適　　用

第27号様式（第40条関係）

支 給 材 料 受 払 簿

No.

工　事　名						
年　月　日	品　　名	形 状 寸 法	数　量	引渡	引受	用　　途

第29号様式（第40条関係）

支給材料受払精算書

令和　　年　　月　　日

いわき市水道事業管理者　様

住所

受注者

氏名

1　工事名	
2　工事場所	
3　契約工期	令和　　年　　月　　日から 令和　　年　　月　　日まで

品名	形状寸法	受払数量	使用数量	残数量	摘要

検査欄　　年　　月　　日

課　　係

監督員職氏名

（R7.4.1版）

第29号様式（40条関係）

品　　名	形 状 寸 法	受払数量	使用数量	残 数 量	摘　　要

第17号様式（第15条関係）

貸　与　品　借　用　書

令和　　年　　月　　日

契約権者
いわき市水道事業管理者　様

住 所
受注者
氏 名

令和　　年　　月　　日　　工事契約に基づく貸与品について下記物品を受領したので提出します。

記

品名	規格	単位	数量	貸与期間	受領場所	返納場所	貸与条件

（R7.4.1版）

第18号様式（第15条関係）

貸　与　品　返　納　書

令和　　年　　月　　日

契約権者
いわき市水道事業管理者　様

住 所
受注者
氏 名

令和　　年　　月　　日　　工事契約に基づく貸与品について下記のとおり返納します。

記

品　　名	規　　格	単 位	数 量	返　納　場　所	備　　考

（R7.4.1版）

第18号様式（15条関係）

品　　名	規　　格	単 位	数 量	返　納　場　所	備　　考

〈第19号様式・約款第20条関係〉

第　　号
令和　　年　　月　　日

受注者　　様

契 約 権 者　　いわき市水道事業管理者

水道工事一時（一部）中止について

下記工事を令和　　年　　月　　日から一時（一部）中止をして下さい。

記

工事番号	第　　号			
工事名				
工事場所				
工期	着手	年　月　日	完成	年　月　日
請負額	¥			
受注者				
一時（一部）中止する理由				
その他	中止解除予定	年　月　日		

（R7.4.1版）

〈第19号様式・約款第20条関係〉

第　　号
令和　　年　　月　　日

受注者　　様

契 約 権 者　　いわき市水道事業管理者

水道工事一時（一部）中止の解除について

令和　　年　　月　　日から一時（一部）中止した下記工事については中止を解除しますからすみやかに工事を始めてください。

記

工　事　番　号	第　　号			
工　　事　　名				
工　事　場　所				
工　　期	着　手	年　　月　　日	完　成	年　　月　　日
請　　負　　額	¥			
受　　注　　者				
解　除　理　由				
そ　　の　　他				

(R7.4.1版)

第31号様式(第45条関係)

工　期　延　長　承　認　願

いわき市水道事業管理者　　様　　令和　　年　　月　　日

受注者　住所

氏名

工　事　名	
工事場所	地内
請負代金額	契約工期 年　月　日　から 年　月　日　まで
延長願日数 日間	出来高歩合 %
理由	

決定伺　　課 監督員職氏名		年　月　日　起案
決定区分 □　承認する　□　承認しない		年　月　日　決裁
延長日数 日間	しゅん工期限 年　月　日	年　月　日　通知

違約金

請負残工事代金額　　年　　日数　　円

……　×　8.25%　×　……　＝　……

決定理由又は条件

管理者	局　長	次　長	課　　長	課長補佐	係　　長	係	公印取扱者

(R7.4.1版)

第32号様式(第45条関係)

工 期 延 長 決 定 通 知 書

第　　号
令和　　年　　月　　日

受注者

様

いわき市水道事業管理者
㊞

年　　月　　日付けで願い出のあったことについて次のとおり通知します。

1　工　事　名	
2　決 定 区 分	□　承認する　　□　承認しない
3　延長日数及びしゅん工期限	日間延長し　　年　　月　　日までとする
4　決定理由又は条件	
5　違　約　金	請負残工事代金額　　年　　日数　　円 ……×　8.25%　×……＝……

(R7.4.1版)

第33号様式(52条関係)

しゅん工届

いわき市水道事業管理者　様　　令和　年　月　日

受注者
住所
氏名

工事名		
工事場所		地内
請負代金額	契約工期	年　月　日　契約
前金払受領済額		年　月　日　から
部分払受領済額		年　月　日　まで
請負代金残額		年　月　日　しゅん工
添付書類　工事写真　施工前　経過　しゅん工　その他	監督員職氏名	
検査希望　年　月　日		

管理者	局長	次長	工事担当課 課長	課長補佐	係長	係

上記工事の検査を命ずる。

検査員職氏名	検査の日時（該当するものにレ印） 年　月　日
立会人職氏名	□ 午前 □ 午後　時　分

技術管理者	管理者	局長	次長	検査担当課 課長	課長補佐	課員

(R7.4.1版)

第35号様式(1)(第52条関係)

完 成 工 事 物 引 渡 書

年　　月　　日

発　注　者
いわき市水道事業管理者　　様

受注者　住所

氏名

次のとおり工事が完成しましたので引渡します。

工事名		
工事場所		地内
工事数量		
契約工期	着手年月日	年　　月　　日
	完成年月日	年　　月　　日
完成年月日		年　　月　　日
請負金額		百万　千　円
検査年月日		年　　月　　日

上記工事物件を受領し、別紙完成工事物受領書を交付してよいか伺います。

契約不適合責任期間	引渡しを受けた日から 年　か月	引渡しの日	年　　月　　日

管理者	局長	次長	課長	課長補佐	係長	係員

起案者　課　係 職氏名			記号番号　第　号
			交付　年　月　日
公印	施行	受付	起案　・　・　・
			決裁　・　・　・
			施行　・　・　・

(R7.4.1版)

第35号様式(2)(第52条関係)

完 成 工 事 物 受 領 書

第　　号
年　　月　　日

様

いわき市水道事業管理者
㊞

次の工事物件を受領したので、受領書を交付します。

工事名											
工事場所											地内
請負金額				百万			千			円	
契約工期	着手年月日	年		月		日					
	完成年月日	年		月		日					
検査年月日		年		月		日					
引受年月日		年		月		日					
契約不適合責任期間		引渡しの日から起算して　　年　　か月									

その他(工事数量等)

(R7.4.1版)

第34号様式(第52条関係)

工　事　手　直　し　指　示　書

第　　号
年　　月　　日

様

いわき市水道事業管理者
㊞

検査に合格しない部分を下記のとおり指示するから指定期限内に補修(改築)してください。

工　　事　　名	
手　直　し　期　限	年　　月　　日　まで
再　検　査　日	年　　月　　日　午前 午後　　時

手直し指示事項

(R7.4.1版)

第38号様式(第60条関係)

工事既成部分払申請書（第　回分）

いわき市水道事業管理者　　様　　令和　　年　　月　　日

受注者　住所

氏名

工　事　名	
工事場所	地内
請負代金額	契約工期 年　月　日　契約 年　月　日　から 年　月　日　まで
前回までの受領金額	
特記事項 出来高　　%	申請事項確認 課　係 監督員職氏名
添付書類 工事写真　その他	令和　年　月　日 確認

管理者	局　長	次　長	工事担当課			
			課　長	課長補佐	係　長	係

上記工事の検査を命ずる。

検査員職氏名	検査の日時（該当するものに　印） 年　月　日
立会人職氏名	□　午前 時　分 □　午後

技術管理者	管理者	局　長	次　長	検査担当課		
				課　長	課長補佐	課　員

(R7.4.1版)

第39号様式(第60条関係)

工事既成部分払決定通知書(第　回分)

第　　号
年　　月　　日

様

いわき市水道事業管理者
㊞

年　　月　　日付けで申請のあったこのことについて、下記のとおり決定したので請求書を提出してください。

1　工　事　名								
2　工事場所	地内							
3　請負金額	百万	千	円	5　前回までの支払額	百万	千	円
4　出　来　高	%			6　今回支払可能額	百万	千	円

摘　要　欄

(R7.4.1版)

令和　　年　　月　　日

建設業退職金共済制度実績報告書

いわき市水道事業管理者　　様

住所
受注者
氏名

１．　工　事　名

２．　工事場所　　地内

３．　請負金額　　円

４．　工　　期　　令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日

５．　掛金収納

契約時	証紙枚数	１日券	枚	１枚当りの販売価格	円	金額	円
		１０日券	枚	１枚当りの販売価格	円	金額	円
追加		１日券	枚	１枚当りの販売価格	円	金額	円
		１０日券	枚	１枚当りの販売価格	円	金額	円
					合　計　金　額		円

５．　証紙貼付状況

対象人数　　人
対象延人数　　人
印紙貼付　　枚　　金額　　円

(R7.4.1版)

第21号様式（第31条関係）

着　　工　　届

令和　　年　　月　　日

いわき市水道事業管理者　　様

住 所

受　注　者

氏 名

電話番号　　－　　－

工　事　名	
工 事 場 所 地内	
請 負 代 金 額　　円	令和　　年　　月　　日　契約
令和　　年　　月　　日　着工	契約工期 令和　　年　　月　　日　から 令和　　年　　月　　日　まで

確認欄

年　　月　　日

課　　係

監督員職氏名

係　　長

（R7.4.1版）

建　設　産　業　廃　棄　物　処　理　報　告　書

令和　　年　　月　　日

（契約権者）
いわき市水道事業管理者　様

住　　所

（受注者）名　　称

代 表 者 名

令和　　年　　月　　日契約の　　工事　により、発生した建設産業廃棄物については、次により適正に処理したので、水道施設工事共通仕様書【土木工事編】１．４．１０により報告します。

１．工事概要

(1)　工 事 番 号　　第　　号
(2)　工　　期　　令和　　年　　月　　日 から 令和　　年　　月　　日 まで
(3)　施工箇所
(4)　請 負 金 額　　円

２．処理結果

番号	廃材の種類	数量 (1)	単位	処理方法 (2)	処理施設名称 処理施設所在地	運搬距離 (3)	備　考
①			t ・ m3	最終・中間 自社・再処理		km	
②			t ・ m3	最終・中間 自社・再処理		km	
③			t ・ m3	最終・中間 自社・再処理		km	
④			t ・ m3	最終・中間 自社・再処理		km	

注）(1) 該当する単位名の箇所を○印で囲むこと。
(2) 該当する処理方法の箇所を○印で囲むこと。（最終：最終埋立処分，中間：中間処理処分，自社：自社処分とする。）
(3) 発生現場から処理施設までの運搬距離を記入すること。ただし、再処理の場合は再利用する場所までの距離とする。
(4) 産業廃棄物管理票（Ｅ票）の写しを添付すること。

（R7.4.1版）

〈第30号様式・その１〉

資　材　受　払　簿

（品名）

現場代理人

月　日	受入					払出		差引残数量	摘　要
	当日受入数	購入先	運搬業者名	保管場所及び数量	受入累計数	当日払出数	払出数累計		
	（　）	(納品書有無)	(送り状有無)		（　）	（　）	（　）	（　）	
	（　）	（有・無）	（有・無）		（　）	（　）	（　）	（　）	
	（　）	（有・無）	（有・無）		（　）	（　）	（　）	（　）	
	（　）	（有・無）	（有・無）		（　）	（　）	（　）	（　）	
	（　）	（有・無）	（有・無）		（　）	（　）	（　）	（　）	
	（　）	（有・無）	（有・無）		（　）	（　）	（　）	（　）	
	（　）	（有・無）	（有・無）		（　）	（　）	（　）	（　）	

〈第100号様式・その１〉

社内検査記録　（　　）

社内検査員

工事番号	第　　号	工　事　名	工事
路線(河川)名		工事場所	いわき市　　地内
契約工期	自　令和　年　月　日 至　令和　年　月　日	請負金額	円

工事内容		進　捗　率 % （　　%） 検査時の工事進捗率 （）は計画

監　督　員		現場代理人	

［検査結果］

検査月日	令和　　年　　月　　日

検　査　所　見

〈第100号様式・その２〉　　(R7.4.1版)

検査項目	指示・指導・改善事項及び検査結果	処理完了月日

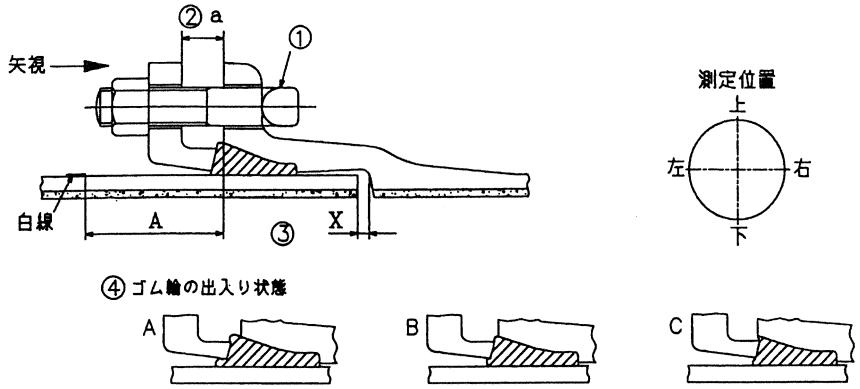
(No.　　)

K形継手チェックシート

令和　　年　　月　　日

工事名 工　区	
配管図 No. 測　点 No.	
呼び径・管種	

継手施工者(　　)



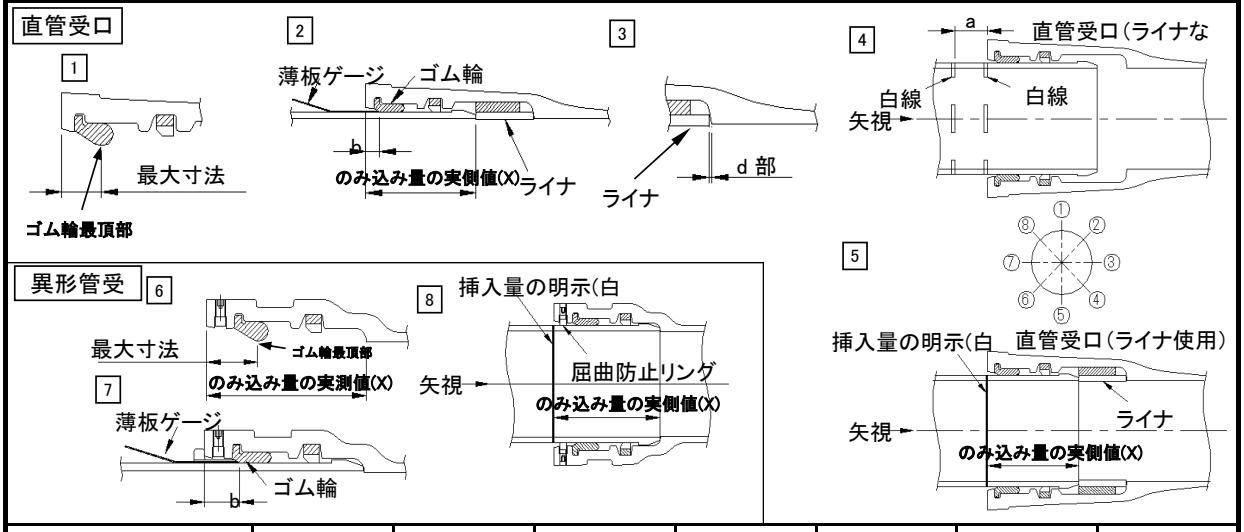
管　No. および形状								
略　図								
継　手　No.								
清　掃								
滑　剤								
①ボルト	数							
	トルク(N・m)							
特殊押輪用押ボルト	数							
	トルク(N・m)							
②押輪－受口端面間隔(a)	上							
	右							
	下							
	左							
③受口端面－白線の間隔(A)または胴付間隔(X)	上							
	右							
	下							
	左							
④ゴム輪の出入状態	上							
	右							
	下							
	左							
判　定								

判定基準　②押輪－受口端面の間隔(a)　:最大値－最小値≦5mm(同一円周上)
③受口端面－白線の間隔(A)　:呼び径　75～250mmA≦　95mm
呼び径300～600mmA≦107mm
または胴付間隔(X)　:X≦表2の値
④ゴム輪の出入状態　:同一円周上にA,CまたはA,B,Cが同時に存在しないこと。

NS形継手チェックシート(φ75～φ250)

令和　　年　　月　　日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	



管　No.							
管の種類							
略図／ライナ							

継　手　No.								
清　　掃								—
ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ心出し用ｺﾞﾑの確認								—
ライナ位置の確認(d部)※1								3
挿し口の挿入量の明示(白線)								5 8
受口端面～ゴム輪最頂部の最大寸法(c)								1 6
滑　　剤								—
明示した白線位置の確認※2								5 8
薄板ゲージの入り込み量(b)(ゴム輪の位置確認)	全周チェック							2 7
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
	⑧							
受口端面～白線B間隔(a)	①							4
	③							
	⑤							
	⑦							
屈曲防止リングの確認※3								8
判　　定								—

判定基準　受口端面～ゴム輪間隔(b)＜受口端面～ゴム輪最頂部の最大寸法(C)

※1　ライナが受口奥部に当たっている事を、4.5㎜の隙間ゲージを用いて確認する。

※2　接合直後に、明示した白線が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。

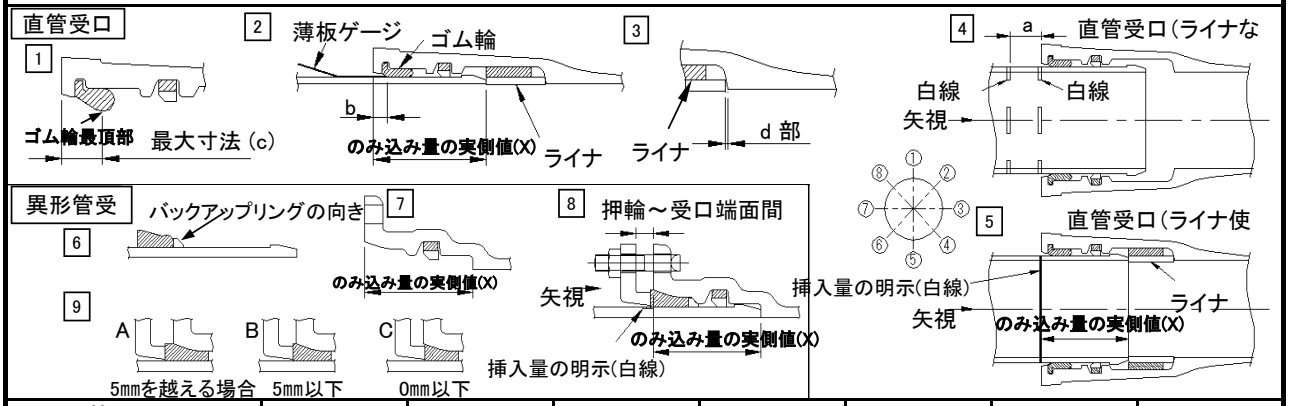
※3　屈曲防止用突部(直管挿し口の場合は挿し口外面)と屈曲防止リングの間に薄板ゲージが入らないこと。

(R7.4.1版)

NS形継手チェックシート(φ300～φ450)

令和　　年　　月　　日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	



管　No.							
管の種類							
略図／ライナ							

継　手　No.								
清　　掃								—
ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ・ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ心出し用ｺﾞﾑの確認								—
ライナ位置の確認(d部)※1								3
挿し口の挿入量の明示(白線)								5 8
受口端面～ゴム輪最頂部の最大寸法(c)								1
滑　　剤								—
明示した白線位置の確認※2								5 8
薄板ゲージの入り込み量(b)(ゴム輪の位置確認)	全周チェック							2
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
	⑧							
受口端面～白線B間隔(a)	①							4
	③							
	⑤							
	⑦							
バックアップリングの向き※3								6
ボルト・ナット	数							—
	ﾄﾙｸ(N･m)							—
押輪～受口端面間隔※4	①							8
	③							
	⑤							
	⑦							
ゴム輪の出入り状態※5	①							9
	③							
	⑤							
	⑦							
判　　定								—

判定基準　受口端面～ゴム輪間隔(b)＜受口端面～ゴム輪最頂部の最大寸法(C)

※1 ライナが受口奥部に当たっている事を、4.5mmの隙間ゲージを用いて確認する。

※2 接合直後に、明示した白線が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。

※3 バックアップリングの向き :テーパ部は挿し口端面側、切断部は受口内面切欠き部をさけた位置にあること。

※4 押輪～受口端面間隔 :最大値－最小値≦5mm(同一円周上)。

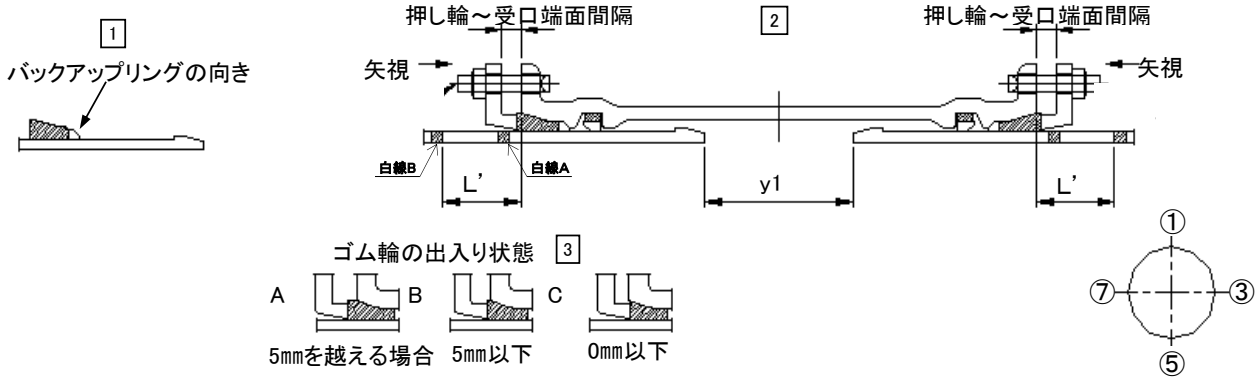
※5 ゴム輪の出入り状況 :同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。

(R7.4.1版)

NS形継ぎ輪チェックシート(φ75～φ450)

令和　　年　　月　　日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

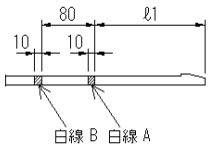


管　No			
管の種類			
略図			

継手No				
清　　掃				―
受口溝(ロックリング)の確認				―
バックアップリングの向き※1				1
両挿し口端の間隔(y1)※2	①			2
	③			
	⑤			
	⑦			
受口端面～白線Bの間隔(L')※3	①			2
	③			
	⑤			
	⑦			
滑　　剤				―
ボルト・ナット	数			―
	トルク(N・m)			―
押輪～受口端面間隔※4	①			2
	③			
	⑤			
	⑦			
ゴム輪の出入り状況※5	①			3
	③			
	⑤			
	⑦			
判　　定				―

備考

1.白線表示の位置



単位mm

呼び径	ℓ1
75	165
100	170
150	195
200	195
250	195
300	230
350	240
400	240
450	245

2.両挿し口端の間隔（y1）

単位mm

呼び径	y1
75、100	220
150～250	250
300～450	300

3.挿し口白線Bと受口端面の間隔（L'）

単位mm

呼び径	75	100	150～250	300	350、400	450
L'	80	85	100	150	160	165

判定基準　※1 バックアップリングの向き :テーパ部は挿し口端面側、切断部は受口内面切欠き部をさけた位置にあること。
※2 せめ配管する場合に記入すること。
※3 一方から順次配管する場合に記入すること。
※4 押輪～受口間隔　:最大値-最小値≦5mm(同一円周上)
※5 ゴム輪の出入り状況　:同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。

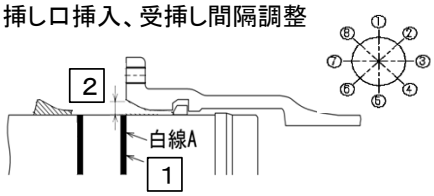
(R7.4.1版)

NS形直管チェックシート(φ500～φ1000)

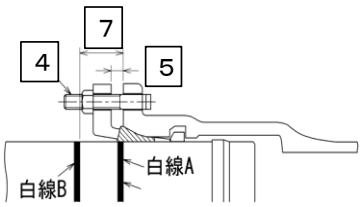
令和　　年　　月　　日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

挿し口挿入、受挿し間隔調整



ボルトナット取付

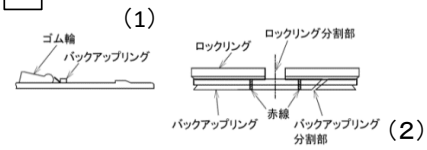


7 の最大-最小値の許容値

単位：mm

呼び径	X
500	31
600	31
700	32
800	32
900	32
1000	33

3 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾘﾝｸﾞの向き、分割部の位置



6 ゴム輪の出入り状態

5mmを超える場合　5mm以下　0mm以下

管　No.								
管の種類								
略　図								
継手No.								—
清　掃								—
挿入量の確認	①							1
	③							
	⑤							
	⑦							
受挿し隙間の調整								2
バックアップリングの向き、分割部の位置※1	(1)							3
	(2)							
滑　剤								—
押輪分割部の上下配置								—
ボルト・ナット	数							4
	トルク N・m							
押輪～受口間隔※2	①							5
	③							
	⑤							
	⑦							
ゴム輪の出入り状態※3	①							6
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
	⑧							
	めくれ							
白線B～受口間隔※4	①							7
	③							
	⑤							
	⑦							
判　定								—

判定基準
※1 バックアップリングの向き、分割部の位置
(1)バックアップリングの羽根部がゴム輪側にあること。
(2)バックアップリング分割部とロックリング分割部が重ならないこと。
※2 押輪～受口間隔：最大値－最小値≦5mm（同一円周上）
※3 ゴム輪の出入り状態
(1)同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。
(2)ゴム輪の角部が押輪に乗り上げためくれ状態（右図）が存在しないこと
※4 白線B～受口間隔：最大値－最小値≦X（X：上表参照）

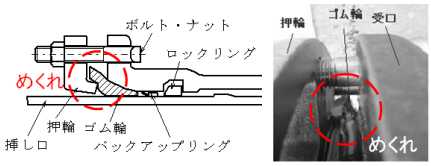


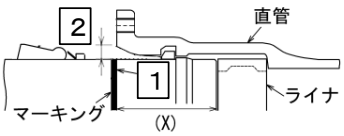
図　接合不良の例

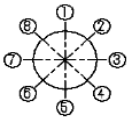
(R7.4.1版)

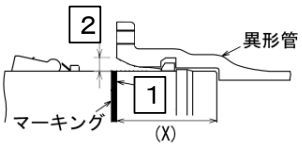
NS形直管（ライナ使用）・異形管チェックシート（φ500～φ1000）　令和　　年　　月　　日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

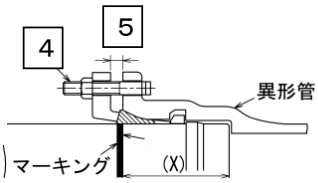
挿し口挿入、受挿し間隔調整



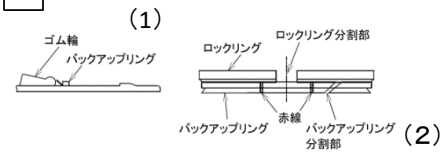




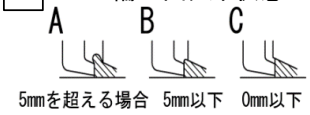
ボルトナット取付



3 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾘﾝｸﾞの向き、分割部の位置



6 ゴム輪の出入り状態



管　No.							
管の種類							
略　図							

継手No.								—
清　掃								—
挿し口の挿入量（X）の明示								1
挿入量の確認※1	①							1
	③							
	⑤							
	⑦							
抜け出しチェック								—
受挿し隙間の調整								2
バックアップリングの向き、分割部の位置※2	（1）							3
	（2）							
滑　剤								—
押輪分割部の上下配置								—
ボルト・ナット	数							4
	トルク N・m							
押輪～受口間隔※3	①							5
	③							
	⑤							
	⑦							
ゴム輪の出入り状態※4	①							6
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
	⑧							
	めくれ							
判　　定								—

判定基準
※1 挿入量確認：現地で明示した白線上に受口端面があること。
※2 バックアップリングの向き、分割部の位置
（1）バックアップリングの羽根部がゴム輪側にあること。
（2）バックアップリング分割部とロックリング分割部が重ならないこと。
※3 押輪～受口間隔：最大値－最小値≦5mm（同一円周上）
※4 ゴム輪の出入り状態
（1）同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。
（2）ゴム輪の角部が押輪に乗り上げためくれ状態（右図）が存在しないこと。

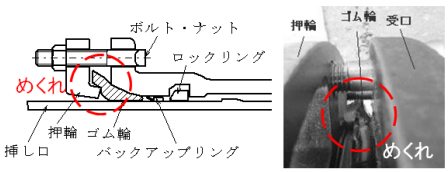


図　接合不良の例

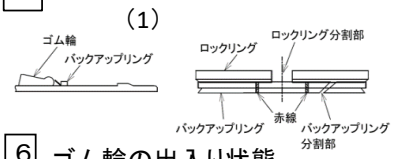
（R7.4.1版）

NS形継ぎ輪チェックシート(φ500～φ1000)

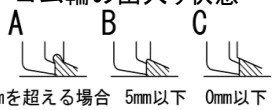
令和　　年　　月　　日

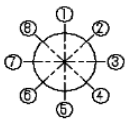
工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

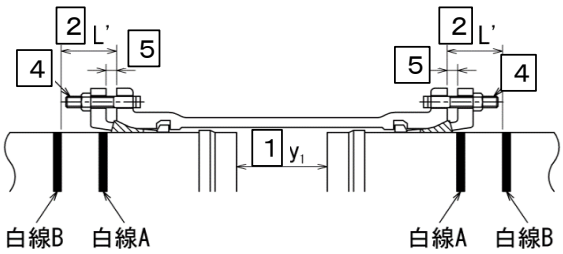
3 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾘﾝｸﾞの向き、分割部の位置



6 ゴム輪の出入り状態





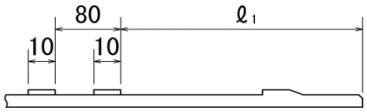


管　No.				
管の種類				
略　図				

継手No.				
清　掃				—
両挿し口端の間隔 (y_1)	①			1
	③			
	⑤			
	⑦			
受口端面～白線の間隔 (L')	①			2
	③			
	⑤			
	⑦			
受挿し隙間の調整				—
バックアップリングの向き、分割部の位置※1	(1)			3
	(2)			
滑　剤				—
押輪分割部の上下配置				—
ボルト・ナット	数			4
	トルク N・m			
押輪～受口間隔※2	①			5
	③			
	⑤			
	⑦			
ゴム輪の出入り状態※3	①			6
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
	⑦			
	⑧			
	めくれ			
判　　定				—

備考

1. 白線表示の位置



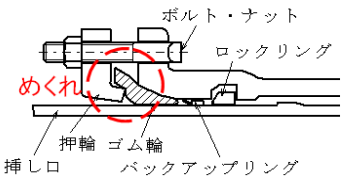
呼び径	ℓ_1 (mm)
500	220
600	220
700	257
800	265
900	265
1000	268

2. 両挿し口端の間隔(y_1)およびL'寸法(y_1の場合)

呼び径	y_1 (mm)	L' (mm)
500	260	105
600	260	105
700	300	87
800	305	98
900	305	98
1000	310	103

判定基準
※1バックアップリングの向き、分割部の位置
(1)バックアップリングの羽根部がゴム輪側にあること。
(2)バックアップリング分割部とロックリング分割部が重ならないこと。
※2 押輪～受口間隔：最大値－最小値≦5mm(同一円周上)
※3 ゴム輪の出入状態
(1)同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。
(2)ゴム輪の角部が押輪に乗り上げためくれ状態(右図)が存在しないこと

注)両挿し口端の間隔(y_1)は、一方から配管する場合には記入不要。
L'(受口端面～白線の間隔)は、せめ配管の場合には記入不要。



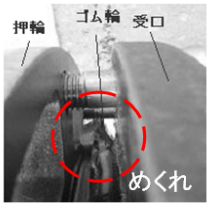


図　接合不良の例

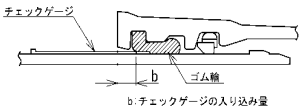
(R7.4.1版)

GX形継手 チェックシート(直管・P-Link)

令和　　年　　月　　日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

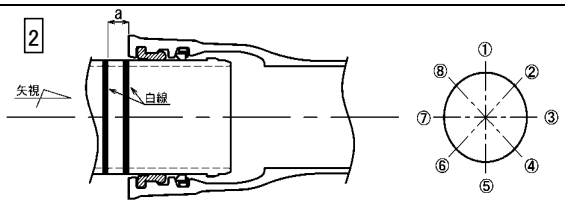
1 直管



b寸法の合格範囲

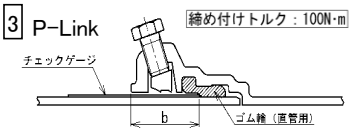
呼び径	合格範囲(mm)
75	8～18
100	8～18
150	11～21
200	11～21
250	11～21
300	14～24
350	14～25
400	14～25

2



締め付けトルク：100N･m

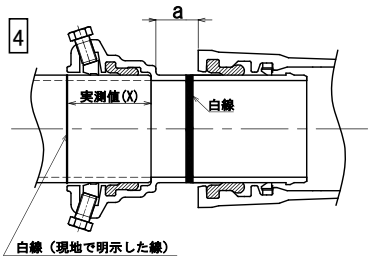
3 P-Link



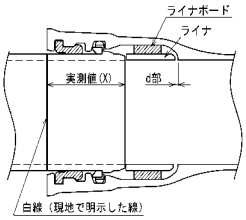
b寸法の合格範囲

呼び径	合格範囲(mm)
75	54～63
100	57～66
150	57～66
200	63～72
250	63～72
300	70～80

4



5



管　No.								
管の種類								
略図／ライナ								

継　手　No.								—
挿し口突部の有無								—
清　掃・異物の除去								—
ライナの位置確認(d部)※1								5
受口溝(ﾛｯｸﾘﾝｸﾞ)の確認								—
挿し口の挿入量の明示								4 5
爪、押しボルトの確認(P-Link)								—
滑　剤								—
マーキング(白線)位置の確認※2								5
受口端面～ゴム輪間隔(b)※3	全周チェック							1 3
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
	⑧							
受口端面～白線間隔(a)注)	①							2 4
	③							
	⑤							
	⑦							
押しボルト	本数							4
	トルク確認							
判　定								—
備　考								

判定基準 ：※1 ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。
※2 接合直後にマーキング(白線)位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。
※3 受口端面～ゴム輪間隔(b)が表に示す合格範囲内であること。また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。

注） P-Linkの場合は受口端面からの直部長さ 4 a寸法を記入する。

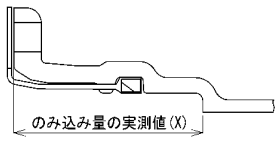
(R7.4.1版)

GX形継手 チェックシート(異形管・G-Link)

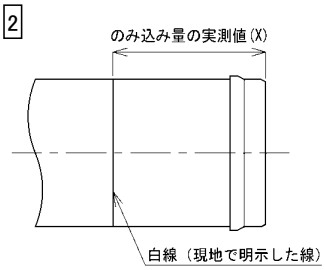
令和　　年　　月　　日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

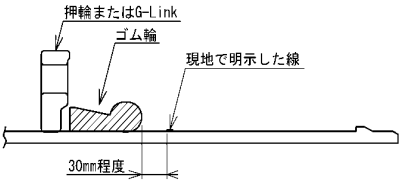
1



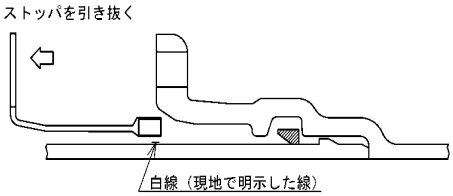
2



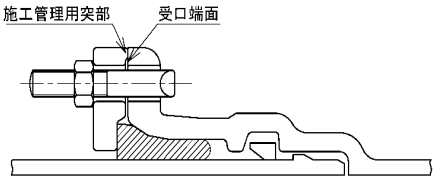
3



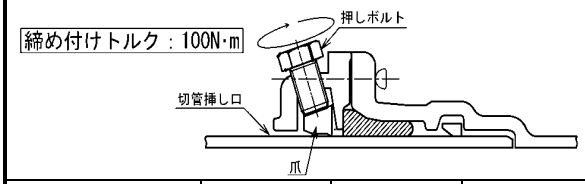
4



5



6　G-Linkを使用する場合



管　No.							
管の種類							
略図							

継　手　No.								—
挿し口突部の有無注)								—
清　掃・　異物の除去								—
ロックリング、ストッパの確認								—
挿し口の挿入量の明示								1 2
爪、押ボルトの確認(G-Link)								—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認								3
滑　　剤								—
ストッパの引き抜き								4
抜け出しチェック(挿し口突部有り)								—
T頭ボルト	本数							5
受口端面～施工管理用突部の隙間　※1	箇所数							5
	隙間ゲージ確認							
押しボルト	本数							6
	トルク確認							
判　　定								—
備　　考								

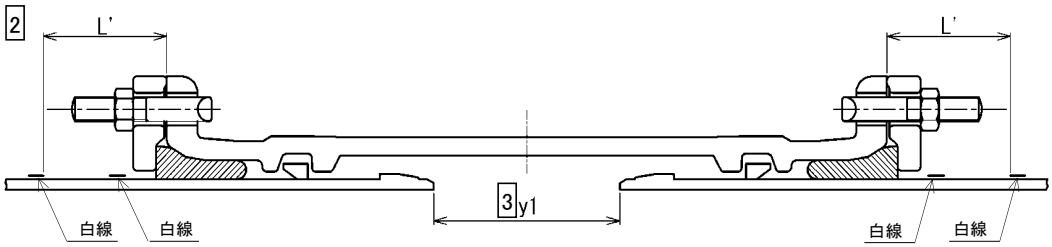
判定基準　　※1　受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。
注)挿し口突部のない挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

(R7.4.1版)

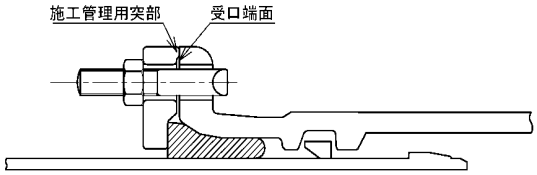
GX形継手 継ぎ輪チェックシート

令和　　年　　月　　日

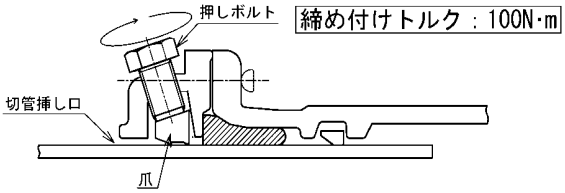
工事名	
図面No.・測点	
呼び径	



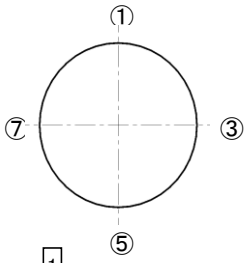
4



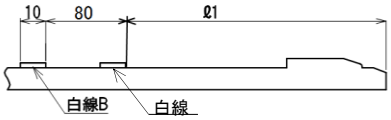
5 G-Linkを使用する場合



管　No.				
管の種類				
略図				
継　手　No.				—
挿し口突部の有無注1)				—
清　掃・　異物の除去				—
白線A,Bの明示				1
爪、押ボルトの確認(G-Link)				—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認				—
滑　　剤				—
ロックリング、ストッパの確認				—
ストッパの引き抜き				—
受口端面～白線の間隔(L′)注2)	①			2
	③			
	⑤			
	⑦			
両挿し口端の間隔(y1)注2)	①			3
	③			
	⑤			
	⑦			
T頭ボルト	本数			4
受口端面～施工管理用突部の隙間 ※	箇所数			4
	隙間ゲージ確認			
押しボルト	本数			5
	トルク確認			
判　　定				
備　　考				



1



単位mm

呼び径	ℓ1+80
75	240
100	245
150	265
200	275
250	275
300	305
350	315
400	320

（i）一方から順次配管していく場合

単位mm

呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120
300	135
350	145
400	150

（ii）せめ配管の場合

単位mm

呼び径	Y
75	190
100	200
150	240
200	250
250	250
300	300
350	300
400	300

判定基準　※　受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。

注1）挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

注2）一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合はy1寸法を記入すること。

(R7.4.1版)

(No.　　)

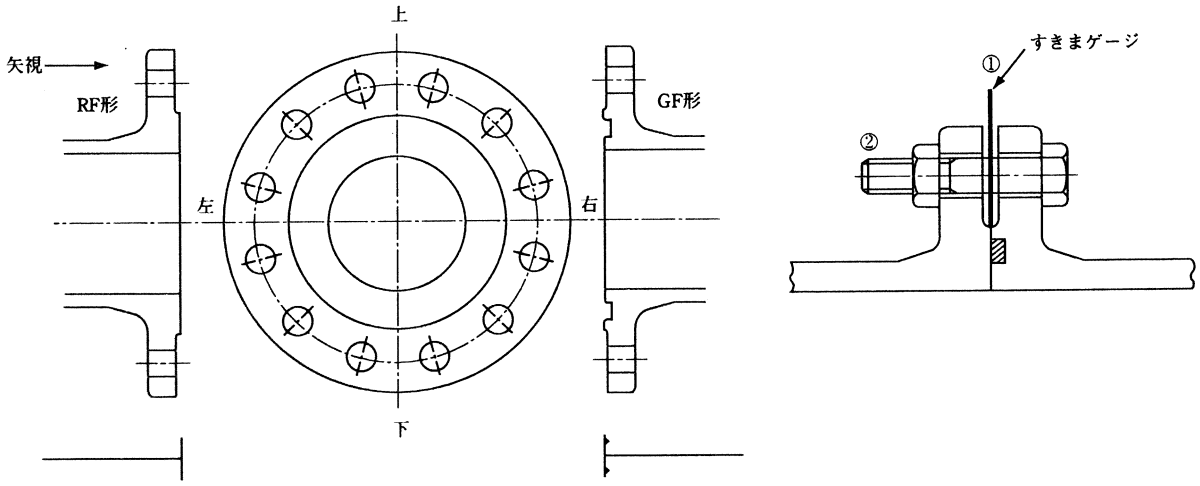
溝形フランジ継手チェックシート
(メタルタッチの場合)

令和　　年　　月　　日

工事名 工　区	
配管図 No. 測　点 No.	
呼び径・管種	

継手施工者(　　)

呼び圧力



製品名 および形状								
製品 No.								
略図								

継手 No.								
清掃								
接着剤使用の有無								
①すきまゲージ(1mm厚)によるチェック	上							
	右							
	下							
	左							
②ボルト	数							
	トルク(N・m)							
判定								

判定基準　①すきまゲージによるチェック　:フランジ面間の1mm厚のすきまゲージが入らないこと。
②ボルトの締め付けトルク　:60N・m以上

(R7.4.1版)

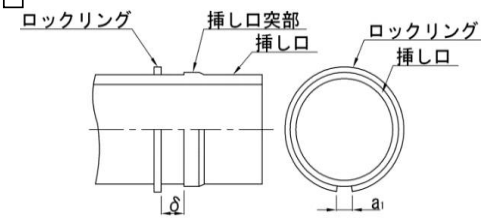
令和　　年　　月　　日

工事名 工区	
配管図No. 測点No.	
呼び径・管種	

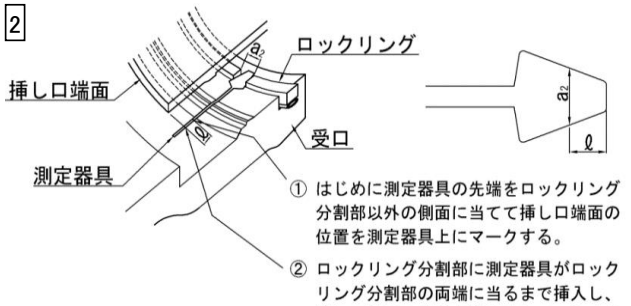
US形継手 チェックシート

継手施工者（　　）

1



2



① はじめに測定器具の先端をロックリング分割部以外の側面に当てて挿し口端面の位置を測定器具上にマークする。

② ロックリング分割部に測定器具がロックリング分割部の両端に当るまで挿入し、挿し口端面の位置を器具上にマークする。

③ その差をℓとし、a_2を測定する。

表1　ロックリング分割部間隔の測定位置

呼び径	δ(mm)	呼び径	δ(mm)
800	55	1650	55
900	55	1800	55
1000	60	2000	60
1100	60	2100	65
1200	60	2200	70
1350	70	2400	80
1500	75	2600	80
1600	55		

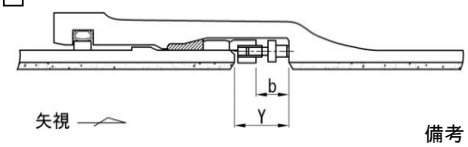
判定基準

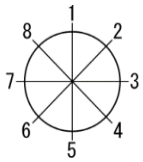
【LS方式】
呼び径 800～1500 ： a2≦a1＋5mm
呼び径1600～2600 ： a2≦a1＋8mm

【VT方式】
呼び径 800～1500 ： a2≦a1＋3mm
呼び径1600～2600 ： a2≦a1＋6mm

【SB方式】
a2≦a1

3





備考　呼び径1500以下の場合は1、3、5、7の4ヶ所とする。

表2　締め付け完了時のb寸法と締め付けトルク

呼び径	締め付け完了時のb寸法(mm)	締め付けトルク(N･m)
800～1500	57～60	120
1600～2400	67～70	140
2600	77～80	

管　No.									
管の種類									
略図									
継　手　No.									—
清　　掃									—
滑　　剤									—
留め具									—
ロックリング分割部間隔(a)	a_1								1
	a_2								2
受口底部と押輪の間隔(b)または締め付けトルク	1								3
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
胴付間隔(Y)	1								3
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
判　　定									—
備　　考									

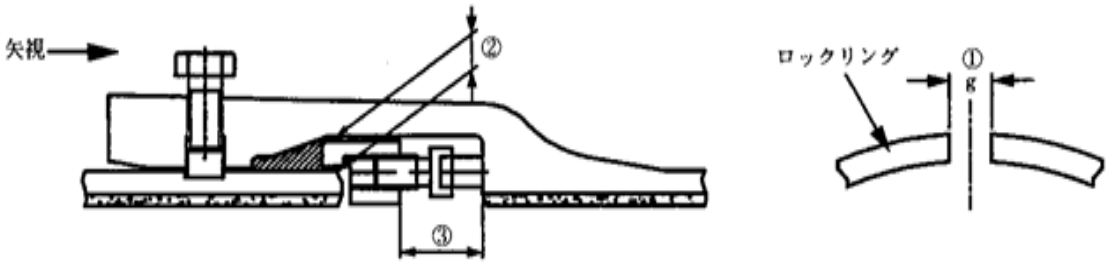
(R7.4.1版)

ＵＦ形継手チェックシート

年　　月　　日

工　事　名 工　　区	
配　管　図 No. 測　　点　No.	
呼び径・管種	

継手施工者（　　）



管No.および形状							
略　　図							

継　　手　　Ｎｏ．								
清　　掃								
滑　　剤								
留　め　金　具								
①ロックリングの間隔（g）	ｇ1							
	ｇ2							
②受口－挿し口すき間	上							
	右							
	下							
	左							
③受口底部－押輪間隔または締め付けトルク	上							
	右							
	下							
	左							
判　　定								

判定基準 ： ①ロックリングの間隔（ｇ）：ｇ2≦ｇ1

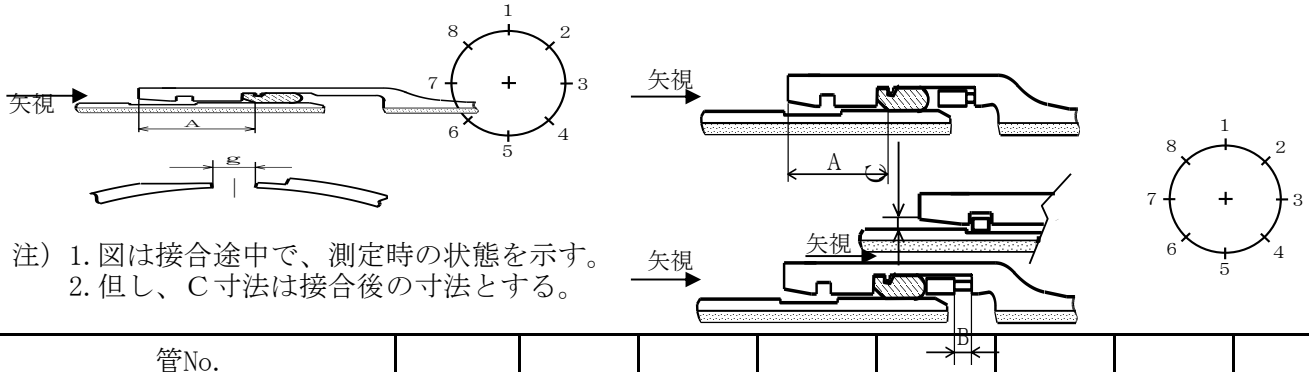
ＰＮ形継手チェックシート

令和　　年　　月　　日

工事名 工　区	
配管図No. 測　点No.	
呼び径･管種	

継手施工者（　　）

呼び径　300～600　　呼び径　700～1500



注）1. 図は接合途中で、測定時の状態を示す。
　　2. 但し、Ｃ寸法は接合後の寸法とする。

管No. および形状									
略　　図									
継手No.									
清　　掃									
ﾛｯｸﾘﾝｸﾞと管の隙間ﾁｪｯｸ									
ロックリング の間隔（ｇ）	g_1								
	g_2								
滑剤									
受口面－ゴム輪 間　隔 （A）	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
呼び径700～1500 押輪用ボルト	数								
	ﾄﾙｸ								
呼び径700～1500 受口－押輪 間隔 （B）	1								
	3								
	5								
	7								
受口内面－挿し口外面 間隔 （C） ・呼び径300～600は 1,3,5,7の4カ所 ・呼び径700～1500は １～8の8カ所	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
判　　定									

1. 判定基準：ロックリングの間隔　g2≦g1、またはg2≒g1（接合要領書 頁17、36参照）
2. g寸法の測定器具：インサイドキャリパ（直管の場合）

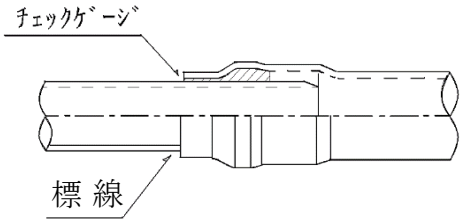
(No.　　)

硬質ポリ塩化ビニル管RR継手チェックシート

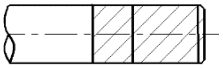
令和　　年　　月　　日

工事名 工　区	
配管図 No. 測　点 No.	
呼び径・管種	

継手施工者(　　)



滑剤塗布幅



斜線部に滑剤を塗布する

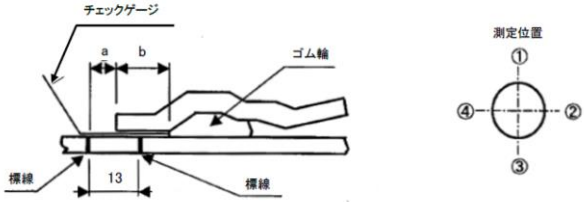


表　製品の寸法（参考）　　単位：mm

呼び径	a 寸法	b 寸法	
		I 形	II 形
50	0～13	19～29	16～26
75		20～30	
100		25～40	
150		25～40	
200		35～50	

【判定基準】

1．a 寸法は、1カ所測定し、標線の中間にあること。

2．b 寸法は、上表の数値を参考に 4 カ所の測定値の最大、最小の差が 10 ㎜以内であること。

管　No. および形状								
略　図								
継　手　No.								
清　掃								
滑　剤								
ゴム輪位置	1							
	2							
	3							
	4							
離脱防止金具 ボルト	数							
	トルク (N・m)							
判　定								

備考　※離脱防止金具の挿口側の金具は、受口端面より10mm程度の離隔を確保すること。

離脱防止金具の取付ボルト締付トルク(参考)

呼び径	トルク(N・m)
50	30
75	40～50
100	40～50
150	50～60

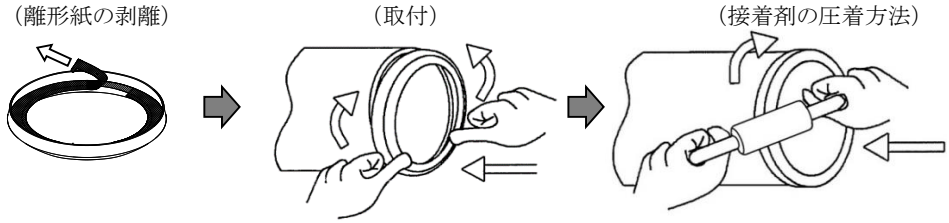
(R7.4.1版)

GX形　管端防食キャップ　チェックシート

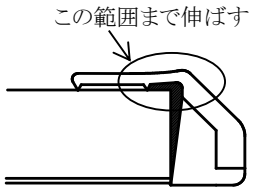
令和　　年　　月　　日

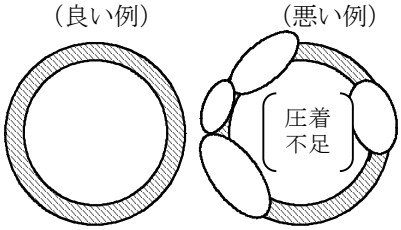
工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

【取付手順】

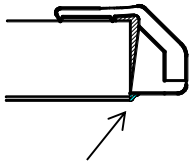


【接着剤の圧着】





【接着剤の処理】



接着剤

管　No.					
管の種類					
略図／ライナ					

継　手　No.						
準備	(1)必要工具の準備					
切管端面仕上げ	(2)端面の平滑化※1					
	(3)内外面のバリの除去					
清掃	(4)端面、内外面の清掃					
	(5)止水プラグのセット（流水がある場合）					
	(6)端面の乾燥状態の確認					
取付前確認	(7)変形等の異常の有無					
	(8)異物の除去					
取付	(9)離形紙の剥離					
	(10)接着剤の圧着※2					
	(11)接着剤の処理※3					
取付後確認	(12)折れ、割れ、傷の有無					
	(13)止水プラグの撤去					
	(14)内面にはみ出したエラストマの切り取り※4					

備考　キャップを正規に取り付けても、管接合時にキャップが外れる場合があるので、施工要領書に従って接合すること。

※1　切管端面に1㎜以上の段差がある場合は再度切管する。1㎜未満の段差は周長60㎜以上の範囲で平滑にすること。

※2　専用治具を用いて、全周に亘って端面全体に均一に圧着すること。

※3　管内面にはみ出した接着剤は指で均すこと。

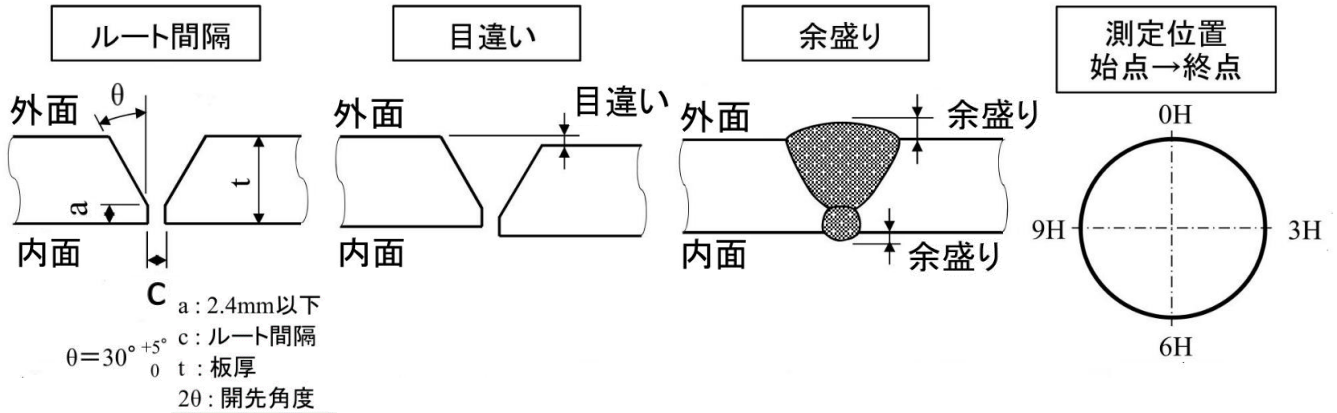
※4　呼び径250のS種粉体管に使用する場合のみ、内面にはみ出したエラストマを専用のカッタで切り取る。

（R7.4.1版）

鋼管現場溶接部の出来形チェックシート

令和　　年　　月　　日

工 事 名	
施工場所 （工区・測点）	
仕　　様	



管　番　号								
継手　No.								
開 先 形 状		良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	
ルート間隔	規格値	1～4mm	1～4mm	1～4mm	1～4mm	1～4mm	1～4mm	
	0 H							
	3 H							
	6 H							
	9 H							
	判定							
目違い （内面）	規格値							
	0 H							
	3 H							
	6 H							
	9 H							
	判定							
余盛り （外面/内面）	規格値							
	0 H							
	3 H							
	6 H							
	9 H							
	判定							
外　　観		良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	良 ・ 否	
非破壊検査 （RT）	位置							
	判定							
総　合　判　定								

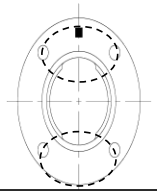
（R7.4.1版）

S50形継手 チェックシート（直管）（挿し口突部有り）

令和　　年　　月　　日

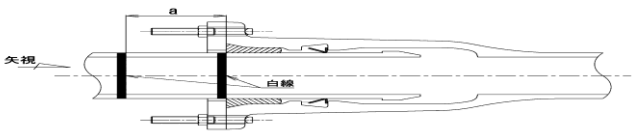
工事名 工　区	
配管図No. 測点No.	
呼び径・管種	

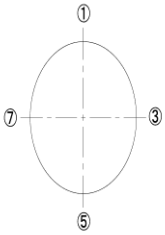
1



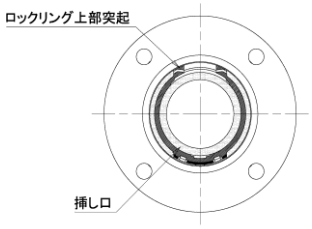
ロックリングの突起位置

2

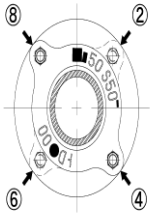




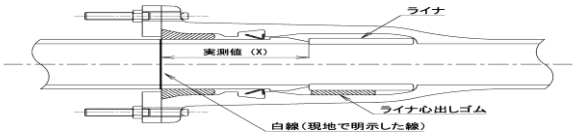
3



4



5



管　No.							
管の種類							
略　図/ライナ							

継　手　No.								—
挿し口突部の有無								—
清　　掃								—
滑　　剤								
挿し口挿入量の明示								5
挿し口挿入前のロックリング確認※1								1
ライナ心出しゴムの確認※2								5
マーキング（白線）位置確認※3								2 5
挿し口挿入後のロックリング確認※1								3
T頭ボルト	本数							4
メタルタッチ確認※4	②(④)							4
	⑥(⑧)							
受口端面～ 白線間隔 (a)	①							2
	③							
	⑤							
	⑦							
判　　定								—
備　　考								

判定基準　※1　ロックリングが正規の位置にあるか確認する。
※2　ライナ心出しゴムが通水部分にはみ出していないかを確認する。
※3　T頭ボルト・ナット締め付け直前にマーキング（白線）位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。
※4　T頭ボルト・ナット取り付け部の受口端面と押輪との間に0.5㎜以上の隙間がないこと。

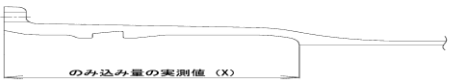
S50形継手 チェックシート（異形管・切管）

令和　　年　　月　　日

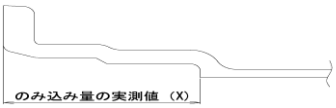
工事名 工　区	
配管図No. 測点No.	
呼び径・管種	

1

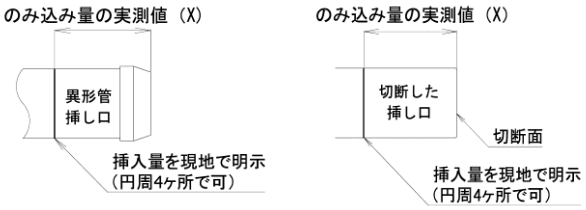
直管



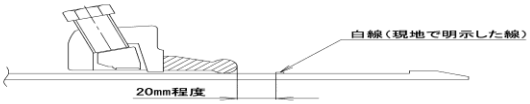
異形管



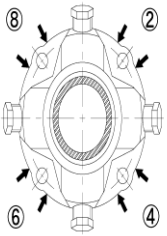
2



3

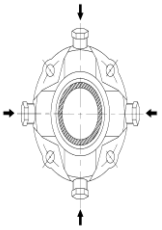


4



5

締め付けトルク：60N･m



管　No.							
管の種類							
略　図							

継　手　No.								—
挿し口突部の有無								—
清　　掃								—
滑　　剤								—
挿し口挿入量の明示								1 2
爪、押しボルトの確認								
ゴム輪、抜け止め押輪の確認								3
T頭ボルト	本数							4
メタルタッチ確認※	②							4
	④							
	⑥							
	⑧							
押しボルト	本数							5
	トルク確認							
判　　定								—
備　　考								

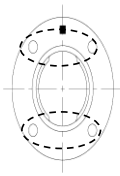
判定基準　※ 受口端面と抜け止め押輪の間に0.5㎜以上の隙間がないこと。
確認はT頭ボルト・ナット穴の横、いずれか一方で行う。

S50形継手 チェックシート（継ぎ輪）

令和　　年　　月　　日

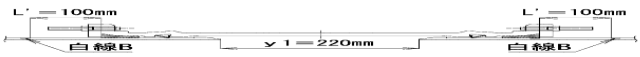
工事名 工　区	
配管図No. 測点No.	
呼び径・管種	

1

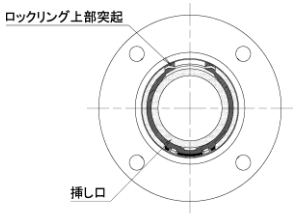


ロックリングの突起位置

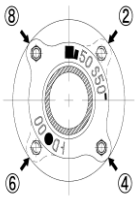
2



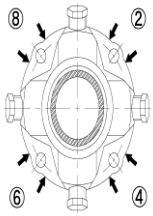
3



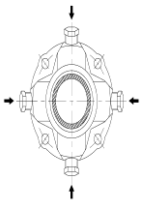
4



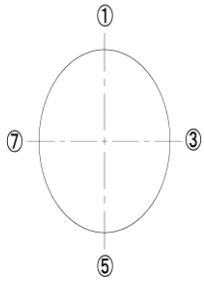
5



6 締め付けトルク：60N･m



管　No.				
管の種類				
略　図				
継手No.				—
挿し口突部の有無注1)				—
清　　掃				—
滑　　剤				—
切管挿し口の白線Bの明示				2
爪、押しボルトの確認				
ゴム輪、（抜け止め）押輪の確認				
挿し口挿入前のロックリング確認※1				1
受口端面～白線の間隔（L´）注2)	①			2
	③			
	⑤			
	⑦			
両挿し口端の間隔（y1）注2)	①			2
	③			
	⑤			
	⑦			
挿し口挿入後のロックリング確認※1				3
T頭ボルト	本数			4 5
メタルタッチ確認※2	②			4 5
	④			
	⑥			
	⑧			
押しボルト	本数			6
	トルク確認			
判　　定				



備　　考

判定基準　※1 ロックリングが正規の位置にあるか確認する。
※2 受口端面と押輪の間に0.5㎜以上の隙間がないこと。

注1） 挿し口突部の無い挿し口を接合する場合は、抜け止め押輪を使用すること。

注2） 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合はy1寸法を記入すること。

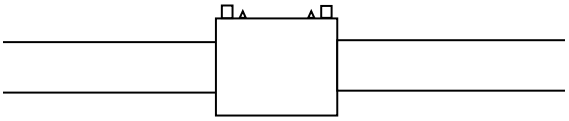
ＥＦ継手接合チェックシート

呼び径　φ　　mm

令和　　年　　月　　日

工　事　名　：	
施　工　場　所（工区・測点）：	
発電機の仕様：	
正常動作確認：	
ｺﾝﾄﾛｰﾗの仕様：	
正常動作確認：	

施工方向 →



管　番　号										
継手　No.										
略　図										
天　　候										
陸継ぎの有無										
湧水の有無										
管の点検・清掃										
スクレープ										
ｴﾀﾉｰﾙ（ｱｾﾄﾝ）清掃										
標線の確認										
通電終了時刻										
ｲﾝｼﾞｹｰﾀの確認										
ｸﾗﾝﾌﾟ取外し時刻										
接合総合判定										

備考：

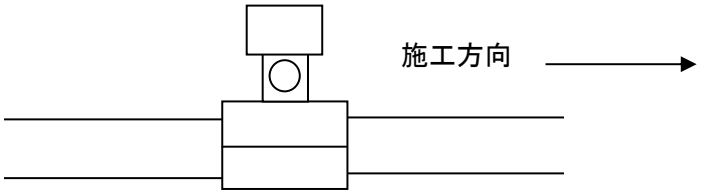
（R7.4.1版）

ＥＦサドル接合チェックシート

呼び径　φ　　mm

令和　　年　　月　　日

工　事　名　：	
施　工　場　所（工区・測点）：	
発電機の仕様：	
正常動作確認：	
ｺﾝﾄﾛｰﾗの仕様：	
正常動作確認：	



管番号										
継手 No.										
略図										
天候										
陸継ぎの有無										
湧水の有無										
管の点検・清掃										
スクレープ										
ｴﾀﾉｰﾙ(ｱｾﾄﾝ)清掃										
標線の確認										
通電終了時刻										
ｲﾝｼﾞｹｰﾀの確認										
ｸﾗﾝﾌﾟ取外し時刻										
接合総合判定										

備考：

(R7.4.1版)

ＥＦコントローラ・専用工具 日常点検チェックシート

点検日時　　令和　　年　　月　　日　　時

	点検項目	確認内容	確認結果	
ＥＦコントローラ	外観確認	コントローラ本体に破損・損傷がないか	□ 良好	□ 異常
		電源・出力ケーブルに破損・損傷がないか	□ 良好	□ 異常
	付属品	付属品が揃っているか　ﾏﾙﾁｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ2個1組　□ 4.0mm用　□ 4.7mm用 □ バーコードリーダー □ 電源変換ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰｹｰﾌﾞﾙ(JWEF200N/200N-2)		
	機能確認	出力アダプターとマルチアダプターの差込具合は良好か	□ 良好	□ 異常
		マルチアダプターに異物が混入していないか	□ 良好	□ 異常
		マルチアダプターの電極端子が変形していないか	□ 良好	□ 異常
		マルチアダプターの電極端子の保持力は充分か	□ 良好	□ 異常
		電動ファンは作動しているか	□ 良好	□ 異常
		バーコードリーダーは発光しているか	□ 良好	□ 異常
		液晶画面は正常に表示されているか		
		日時･時刻は正しく表示されているか	□ 良好	□ 異常
		外気温は表示されているか	□ 良好	□ 異常
		入力電圧が表示されているか	□ 良好	□ 異常
		漏電ブレーカの動作確認をしたか	□ 良好	□ 異常
専用工具類	クランプ	各部に破損や汚れはないか	□ 良好	□ 異常
		各部(駆動部･締付け部)の作動具合は良好か	□ 良好	□ 異常
	スクレーパ	各部に破損や汚れはないか	□ 良好	□ 異常
		各部(駆動部･締付け部)の作動具合は良好か	□ 良好	□ 異常
		切削具合は良好か(刃部の調整または刃の交換の要否確認)	□ 良好	□ 異常
	カッター	刃の破損や曲りはないか	□ 良好	□ 異常
		切断具合は良好か(刃の交換の要否確認)	□ 良好	□ 異常
	延長コード	破損や汚れはないか	□ 良好	□ 異常
		通電チェックをしたか	□ 良好	□ 異常

備考：

(R7.4.1版)

水 圧 試 験 記 録

工事番号・工事名		第　　号　　工事
測定年月日及び時間		年　月　日　　時　分　から　　時　分
試験区間及び延長		No.　　+　　～　No.　　+　　L＝　　m
管種・口径		φ　　mm
保持時間	□ DIP・SP・SUS	フランジの呼び圧力　×　30分間（30分間記録）
	□ HIVP・PEP	0.75MPa　×　15分間（15分間記録）
	□ HPPE	(試験前に0.5MPa以上の水圧を4時間以上かけておくのが望ましい。) ① 管路を0.75MPaに加圧する。 ② 5分後、0.75MPaに再加圧し、③すぐに0.50Mpaまで減圧する。 ④ 1時間後、0.40MPa以上あれば合格 ※0.40MPa未満及び監督員の指示ある場合は、⑤へ ⑤ 24時間後、0.3Mpa以上あれば合格 ●監督員立会写真は、④で合格の場合は③と④を、⑤で合格の場合は③、④、⑤を撮影する。

自記録チャート紙貼付欄

・HPPEの自記録チャート紙の記録は、④で合格の場合は、③～④の間の1時間とする。
⑤で合格の場合は、④～⑤の間の24時間とする。

・その他の管種は、各測定時間とする。

・記録計の方式は、アナログ式、デジタル式を問わない。

裏面に監督員立会写真

水 圧 試 験 記 録(写真)

（裏面）

監督員確認写真貼り付け

各管種共通、試験合格時の全景

HPPEは、④もしくは⑤の全景

監督員確認写真貼り付け

各管種共通、試験合格時の拡大

HPPEは、④もしくは⑤の水圧計拡大写真

監督員確認写真貼り付け

※HPPE以外の管種は、貼り付けしない。

HPPE　④で合格の場合は、③の水圧計拡大写真

⑤で合格の場合は、④の水圧計拡大写真

当初　　追加

建設業退職金共済証紙購入状況報告書

令和　　年　　月　　日

いわき市水道事業管理者　　様

住所
受注者
氏名

次のとおり共済証紙を購入したので、当該掛金収納書を貼付して報告します。

<table>
<tr><td>工事番号・工事名</td><td colspan="3">第　　号
工事</td></tr>
<tr><td>工　事　場　所</td><td colspan="3">いわき市　　地内</td></tr>
<tr><td>請　負　金　額</td><td>円</td><td>変　更　請　負　金　額</td><td>円</td></tr>
<tr><td>契　約　年　月　日</td><td>年　　月　　日</td><td>変　更　契　約　年　月　日</td><td>年　　月　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">購入額算出式</td><td colspan="2">土木工事
請負金額（税抜額）　×　$\frac{2}{1,000}$　=</td><td rowspan="2">円</td></tr>
<tr><td colspan="2">水道・建築・設備工事
請負金額（税抜額）　×　$\frac{1.5}{1,000}$　=</td></tr>
<tr><td>当　初　共　済　証　紙　購　入　額</td><td>円</td><td>追　加　共　済　証　紙　購　入　額</td><td>円</td></tr>
<tr><td colspan="4">掛金収納書（発注官公庁用）貼付欄</td></tr>
</table>

（R7.4.1版）

〈第51号様式〉

工事番号　　第　　号　工事名

工事場所

出　来　形　管　理　報　告　書

種目

工事番号　25〇第　〇〇〇〇 号　　工事名　〇〇配水管（第〇〇-〇〇号)改良工事

工事場所　いわき市〇〇字〇〇地内

記　載　例

出　来　形　管　理　報　告　書

種目	
	床掘工
	基礎砂工
	埋戻工
	管布設工
	小口径推進工
	下層路盤工
	上層路盤工
	仮復旧工
	仮復旧工（コアー採取）
	表層工
	表層工（コアー採取）
	表層工（平坦性）

〈第53号様式〉

工事番号　　第　　号　工事名

工事場所

品　質　管　理　報　告　書

種目

工事番号　25〇第　〇〇〇〇 号　　工事名　〇〇配水管（第〇〇-〇〇号)改良工事

工事場所　いわき市〇〇字〇〇地内

記　載　例

品　質　管　理　報　告　書

種目	材料の受検証明書、検査証明書
	継手チェックシート
	X線撮影溶接部検査記録
	現場密度試験（配管土工・下層路盤工・上層路盤工）
	現場密度試験（ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工）
	温度測定（ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工）

令和　　年　　月　　日

いわき市水道事業管理者　様

住所

氏名

保 菌 検 査 報 告 書

令和　　年　　月　　日契約の次の工事における保菌検査を実施しましたので、その結果を報告します。

１．工事の名称	
２．工事の場所	
３．工事の期間	令和　　年　　月　　日から　令和　　年　　月　　日まで
４．請負金額	円
５．そ　の　他	

管理者	課　長	課長補佐	係　長	係　員	内容に不備がないので報告します。 監督員職氏名

（R7.4.1版）

安　全　管　理　総　括　表

工事番号　　第　　号 工事名

工事場所　　いわき市　　地内

書類名	実施日・内容	備考
災害防止協議会活動記録		
社内現場パトロール実施記録		
安全教育・訓練実施記録		
安全巡視、 ＴＢＭ、 ＫＹ実施記録		
新規入場者教育実施記録		
安全点検記録表		
その他		

照査項目チェックリスト

工事名　　提出年月日

項目	内　　容	照査対象		照査実施		該当事実		備考
		有	無	済	日付	有	無	
施工上の基本条件	(1) 施工時期、施工時間、施工方法などについて条件明示があるか	□	□	□		□	□	
	(2) 環境対策は決定しているか(振動, 騒音, 大気汚染, 水質汚濁等)	□	□	□		□	□	
	(3) 運搬路, 迂回路, ヤード確保の見通しはあるか	□	□	□		□	□	
	(4) 標準的交通処理計画が明確になっているか	□	□	□		□	□	
	(5) 工事支障物件（埋設物など）の移設、撤去は済んでいるか	□	□	□		□	□	
	(1) 埋設物, 支障物件, 周辺施設との近接, 土質等, 施工条件が設計計画に反映されているか	□	□	□		□	□	
	(2) 仮設工(仮設道路、土留工など)について工法の指定など明確であるか	□	□	□		□	□	
	(3) 工事用道路の安全施設、補修、工事終了後の処置などは明確であるか	□	□	□		□	□	
	(4) 交通安全対策（防護施設、交通整理員、作業制限など）について明確であるか	□	□	□		□	□	
	(5) 別途工事がある場合の関連条件などは明確であるか	□	□	□		□	□	
	(6) 未処理用地がある場合、見込み時期などは明確であるか	□	□	□		□	□	
	(7) 施工上の制約条件を確認したか（スペース、交通条件等）	□	□	□		□	□	
関連機関との調整	(1) 道路管理者等との調整は済んでいるか（工事用道路も含む）	□	□	□		□	□	
	(2) 埋設占用物件との調整は済んでいるか（電線、ケーブル、下水道、ガス等管理者との協議内容の確認）	□	□	□		□	□	
	(3) 埋設物に係る資料(台帳等)があるか	□	□	□		□	□	
現地踏査	(1) 環境状況(振動, 騒音等の配慮)は把握したか	□	□	□		□	□	
	(2) 支障物件の状況は把握したか	□	□	□		□	□	
	(3) 施工時の注意事項は把握したか	□	□	□		□	□	
	(4) 現地の状態と設計図書の施工条件が一致しているか	□	□	□		□	□	
	(5) 既設埋設物を試掘により確認し、設計図書との相違がないか	□	□	□		□	□	
地形条件	(1) 用地境界は確認したか	□	□	□		□	□	
	(2) 施工ヤードスペースは確認したか	□	□	□		□	□	
	(3) 資機材運搬路は確保できるか	□	□	□		□	□	
設計図	(1) 各設計図がお互いに整合されているか	□	□	□		□	□	
	1) 平面図、縦横断図と管割図	□	□	□		□	□	
	2) 構造図と仮設図	□	□	□		□	□	
	(2) 使用材料は明記されているか	□	□	□		□	□	
	(3) 隣接工区等との整合がとれているか	□	□	□		□	□	
その他		□	□	□		□	□	
		□	□	□		□	□	
		□	□	□		□	□	

事前協議チェックシート(土木工事用)

□ 該当するチェック項目に**レ**マークを入れる。

（1）協議参加者　　実施日　令和　年　月　日

工事名	工　事			
工　期	令和　年　月　日　～　令和　年　月　日		請負金額（円）　円	
発注者	部課等名			
	職名	(監督員)		
	参加者名			
	E-mail			
受注者	会社名			
	役職名	(現場代理人)		
	参加者名			
	E-mail			

（2）インターネットアクセス環境、利用ソフト等

						監督員確認欄
受注者	最大回線速度	□1.5Mbps以上	□384Kbps以上	□128Kbps以上	□128Kbps未満	□
	電子メール添付ファイルの容量制限	□制限なし	□2Mbyte未満	□(　　)Mbyte未満		□

基本ソフト	ソフト名もしくはファイル形式	受注者利用ソフト(バージョンを含めて記載)		監督員確認欄
文書作成等	一太郎	□		□
	Word	□		□
	Excel (2003以下)	□		□
	Power Point	□		□
	PDF	□ Adobe Reader (Ver.　　)		□
CAD図面	SXF(SFC)形式	□ (Ver.3.0)　□ (Ver.　　)		□
	SXF(P21)形式	□ (Ver.3.0)　□ (Ver.　　)		□
	BVCAD／Rs Civil　(福島県)	□ (Ver.6.0　福島県)		□
	Auto CAD	□		□
	JW-WIN,JW-CAD	□		□
	Rapid	□		□
	その他 (DoraCAD Ho-CAD CAD-Well	□ (　　Ver.　　)		□
写真	JPEG(またはTIFF)形式	□		□
	その他 (BMP、GIF等)	□		□
プリンター	色彩	□カラー　□白黒		□
	サイズ	□A4まで　□A3まで　□A3より大		□
その他				□

（3）電子納品対応レベル

電子納品のレベル判断基準	レ　ベ　ル　判　断				監督員確認欄
建設工事等経過記録	□　レベル０	□　レベル１	□レベル２	□　レベル３	□
協議・打合せ	□　レベル０	□　レベル１	□レベル２	□　レベル３	□
CAD図面の取扱い	□　レベル０	□　レベル１	□レベル２	□　レベル３	□
電子成果品のCD-R格納	□　レベル０	□　レベル１	□レベル２	□　レベル３	□

電子納品のレベル別対応	レ　ベ　ル　別　の　対　応				監督員確認欄
建設工事等経過記録	□　レベル０	□　レベル１	□レベル２	□　レベル３	□
協議・打合せ	□　レベル０	□　レベル１	□レベル２	□　レベル３	□
任意図面・完成図面	□　レベル０	□　レベル１	□レベル２	□　レベル３	□
電子成果品のCD-R格納	□　レベル０	□　レベル１	□レベル２	□　レベル３	□

(R7.4.1版)

事前協議チェックシート(土木工事用)

□ 該当するチェック項目にレマークを入れる。

（４）電子納品対象書類協議項目

フォルダ	サブフォルダ	チェック欄 電子	紙	不要	納品データ名	作成者 発注者	受注者	協議時の合意内容	監督員確認欄
<root>		□		□	INDEX_C.XML、INDE_C3.DTD	○	○	※1	□
DRAWINGS（発注図ﾌｫﾙﾀﾞ）		□		□	DRAWINGS.XML、DRAW03.DTD	○	○	※1	□
		□	□	□	発注図面	○			□
	SPEC（特記）	□	□	□	特記仕様書	○			□
		□	□	□	質問回答書	○			□
MEET（打合せ簿ﾌｫﾙﾀﾞ）		□		□	MEET.XML、MEET03.DTD		○		□
	ORG（ｵﾘｼﾞﾅﾙ）	□	□	□	工事完成届書		○	※2	□
		□	□	□	下請通知書		○	※2	□
		□	□	□	元請・下請関係者一覧表		○		□
		□	□	□	施工体制台帳		○		□
		□	□	□	施工体系図		○		□
		□	□	□	打合せ簿（指示）	○		※2	□
		□	□	□	打合せ簿（承諾）	○	○	※2	□
		□	□	□	打合せ簿（協議）	○	○	※2	□
		□	□	□	打合せ簿（提出）		○	※2	□
		□	□	□	打合せ簿（届出）		○	※2	□
		□	□	□	打合せ簿（その他(報告等)）	○	○	※2	□
		□	□	□	工事材料確認申請書		○	※2	□
		□	□	□	出来形管理帳票		○		□
		□	□	□	品質管理帳票		○		□
		□	□	□	工事履行報告書		○	※2	□
		□	□	□	関係官庁協議資料	○	○	※3	□
		□	□	□	近隣協議資料	○	○	※3	□
		□	□	□	再生資源利用実施書（建設資材搬入工事用）		○		□
		□	□	□	再生資源利用促進実施書（建設資材搬出工事用）		○		□
		□	□	□	請負工事被害報告書		○	※2	□
		□	□	□	請負工事被害確認書	○		※2	□
		□	□	□					□
		□	□	□					□
PLAN(施工計画ﾌｫﾙﾀﾞ)		□		□	PLAN.XML、PLAN03.DTD		○		□
	ORG（ｵﾘｼﾞﾅﾙ）	□	□	□	施工計画書		○		□
		□	□	□	再生資源利用計画書(建設資材搬入工事用)		○		□
		□	□	□	再生資源利用促進計画書(建設資材搬出工事用)		○		□
DRAWINGF(完成図ﾌｫﾙﾀﾞ)		□		□	DRAWINGF.XML、DRAW03.DTD		○		□
		□	□	□	完成図面		○		□
PHOTO（写真ﾌｫﾙﾀﾞ）		□		□	PHOTO.XML、PHOTO04.DTD		○		□
	PIC（写真）	□	□	□	工事写真		○		□
	DRA（参考図）	□	□	□	参考図（凡例図等）		○		□
OTHRS（その他のﾌｫﾙﾀﾞ）		□		□	OTHRS.XML、OTHRS03.DTD		○		□
	ORG001	□	□	□	確認書（確認･立会願、確認･立会結果書）	○	○	※4	□
	ORG002	□	□	□				その他のデータ	□
	ORG003	□	□	□					□

※1　発注者から提供できない場合は受注者に作成をお願いします。

※2　電子納品の対象書類は押印のないもので保管します。
　　ただし、発注者から手書きや押印のある鑑の写し(コピー)を渡された場合は､スキャニングにより電子化します。

※3　印影のあるものを保管する必要がある場合は、スキャニングにより電子化します。

※4　確認書の鑑はスキャニングにより電子化します。

(R7.4.1版)

納品時チェックシート(土木工事用)

□：該当するチェック項目に**レ**マークを入れる。

（1）協議参加者　　実施日　令和　　年　　月　　日

工事名				
工　期	令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日		請負金額（円）　　円	
発注者	部課等名			
	職名	(監督員)		
	参加者名			
	E-mail			
受注者	会社名			
	役職名	(現場代理人)		
	参加者名			
	E-mail			

（2）電子媒体の確認

		監督員確認欄
電子媒体	ＣＤ-Ｒ　□正　1部　□副　1部	□
表記内容	□確認した	□
外　観	□傷、損傷など無し	□
	□問題あり（　　）	□

（3）ウィルスチェック等

		監督員確認欄
ウィルスチェック【受注者】	□ウィルスチェック年月日　令和　　年　　月　　日（　　）	□
ウィルス対策ソフト	□McAfee Virus Scan　□Norton Antivirusu　□ウィルスバスター	□
	□その他（　　）□定義ファイル（　年　月　日付）	□
	□ウィルスがないことを確認した　□ウィルス感染あり	□
	□未チェック：理由（　　）	□
電子納品に関する要領・基準(案)に適合していることのチェック【発注者】	□保管管理システムでチェックした　□エラーあり　□エラー無し	
	□電子納品ﾁｪｯｸｼｽﾃﾑでチェックした　□エラーあり　□エラー無し	
	□対応（　　）	

（4）電子納品対象書類協議項目

フォルダ		チェック欄			納品データ名	作成者		協議時の合意内容	監督員確認欄
	サブフォルダ	電子	紙	不要		発注者	受注者		
<root>		□		□	INDEX_C.XML、INDE_C3.DTD	○	○	※1	□
DRAWINGS（発注図ﾌｫﾙﾀﾞ）		□		□	DRAWINGS.XML、DRAW03.DTD	○	○	※1	□
		□	□	□	発注図面	○			□
	SPEC（特記）	□	□	□	特記仕様書	○			□
		□	□	□	質問回答書	○			□
MEET（打合せ簿ﾌｫﾙﾀﾞ）		□		□	MEET.XML、MEET03.DTD		○		□
	ORG（ｵﾘｼﾞﾅﾙ）	□	□	□	工事完成届書		○	※2	□
		□	□	□	下請通知書		○	※2	□
		□	□	□	元請・下請関係者一覧表		○		□
		□	□	□	施工体制台帳		○		□
		□	□	□	施工体系図		○		□
		□	□	□	打合せ簿（指示）	○		※2	□
		□	□	□	打合せ簿（承諾）	○	○	※2	□
		□	□	□	打合せ簿（協議）	○	○	※2	□
		□	□	□	打合せ簿（提出）		○	※2	□
		□	□	□	打合せ簿（届出）		○	※2	□
		□	□	□	打合せ簿（その他(報告等)）	○	○	※2	□
		□	□	□	工事材料確認申請書		○	※2	□
		□	□	□	出来形管理帳票		○		□
		□	□	□	品質管理帳票		○		□
		□	□	□	工事履行報告書		○	※2	□
		□	□	□	関係官庁協議資料	○	○	※3	□
		□	□	□	近隣協議資料	○	○	※3	□
		□	□	□	再生資源利用実施書（建設資材搬入工事用）		○		□
		□	□	□	再生資源利用促進実施書（建設資材搬出工事用）		○		□

(R7.4.1版)

納品時チェックシート(土木工事用)

□：該当するチェック項目に**レ**マークを入れる。

		□	□	□	請負工事被害報告書		○	※2	□
		□	□	□	請負工事被害確認書	○		※2	□
		□	□	□					□
フォルダ		チェック欄			納品データ名	作成者		協議時の合意内容	監督員確認欄
	サブフォルダ	電子	紙	不要		発注者	受注者		
PLAN(施工計画ﾌｫﾙﾀﾞ)		□		□	PLAN.XML、PLAN03.DTD		○		□
	ORG（ｵﾘｼﾞﾅﾙ）	□	□	□	施工計画書		○		□
		□	□	□	再生資源利用計画書(建設資材搬入工事用)		○		□
		□	□	□	再生資源利用促進計画書(建設資材搬出工事用)		○		□
DRAWINGF(完成図ﾌｫﾙﾀﾞ)		□		□	DRAWINGF.XML、DRAW03.DTD		○		□
		□	□	□	完成図面		○		□
PHOTO（写真ﾌｫﾙﾀﾞ）		□		□	PHOTO.XML、PHOTO04.DTD		○		□
	PIC（写真）	□	□	□	工事写真		○		□
	DRA（参考図）	□	□	□	参考図（凡例図等）		○		□
OTHRS（その他のﾌｫﾙﾀﾞ）		□		□	OTHRS.XML、OTHRS03.DTD		○		□
	ORG001	□	□	□	確認書（確認･立会願、確認･立会結果書）	○	○	※4	□
	ORG002	□	□	□				その他のデータ	□

※1　発注者から提供できない場合は受注者に作成をお願いします。
※2　電子納品の対象書類は押印のないもので保管します。
　　ただし、発注者から手書きや押印のある鑑の写し(コピー)を渡された場合は､スキャニングにより電子化します。
※3　印影のあるものを保管する必要がある場合は、スキャニングにより電子化します。
※4　確認書の鑑はスキャニングにより電子化します。

（５）フォルダ構成・ファイル名の確認

		監督員確認欄
電子媒体内のフォルダ構成	□問題なし（電子納品要領(案)に準じている）	□
	□問題あり（　　）	□
ファイル名 （命名規則に従っているか）	□問題なし（電子納品要領(案)に準じている）	□
	□問題あり（　　）	□

（６）電子成果品の内容の確認

電子納品対象項目	内容照合チェックの実施	内容照合チェックの結果	監督員確認欄
図面ファイル	□実施できた	□内容に相違はない	□
	□実施できなかった	□内容に相違があった	□
	（　　）	（　　）	□
特記仕様書オリジナルファイル	□実施できた	□内容に相違はない	□
	□実施できなかった	□内容に相違があった	□
	（　　）	（　　）	□
打合せ簿オリジナルファイル	□実施できた	□内容に相違はない	□
	□実施できなかった	□内容に相違があった	□
	（　　）	（　　）	□
施工計画書オリジナルファイル	□実施できた	□内容に相違はない	□
	□実施できなかった	□内容に相違があった	□
	（　　）	（　　）	□
写真オリジナルファイル	□実施できた	□内容に相違はない	□
	□実施できなかった	□内容に相違があった	□
	（　　）	（　　）	□
その他オリジナルファイル	□実施できた	□内容に相違はない	□
	□実施できなかった	□内容に相違があった	□
	（　　）	（　　）	□

（７）ＣＤ－Ｒラベルへの署名と電子媒体納品書の受領

		監督員確認欄
電子媒体納品書の受領	□受注者は署名・捺印した電子媒体納品書を提出する	□
ＣＤ－Ｒラベルへの署名	□発注者は内容の確認後、ＣＤ－Ｒラベルへ署名を行う	□

（R7.4.1版）

電子媒体納品書

監督員
様

受注者　　住所

氏名

（現場代理人氏名）

下記のとおり電子媒体を納品します。

工事番号		工事名			
電子媒体の種類	規格	単位	数量	納品年月日	備考

備考

ウイルスチェックソフト
ウイルスチェック年月日

参考様式

工事現場等における事故発生報告書

令和　　年　　月　　日

いわき市水道事業管理者　様

住 所

受注者

氏 名

いわき市水道局発注工事において工事関係者事故（公衆損害事故）が発生したので、下記のとおり報告します。

記

<table>
<tr><td colspan="2">事故発生日時</td><td colspan="6">年　　月　　日（　）　　時　　分 頃</td></tr>
<tr><td colspan="2">発生場所</td><td colspan="6">いわき市</td></tr>
<tr><td colspan="2">工事名</td><td colspan="6">工事</td></tr>
<tr><td rowspan="3">被災（労働）者</td><td>住所</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>氏名</td><td colspan="2"></td><td>勤務先</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>生年月日</td><td colspan="2">年　　月　　日</td><td>年齢</td><td>歳</td><td>性別</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">被災の程度</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="2">事故発生状況及び原因
①どのような場所で
②どのような作業をしている時に
③どのような者又は環境で
④どのような不安全な又は有害な状況にあって
⑤どのような事故が発生したか
等を詳細に記入し被災状況を図示する</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">安全管理対策</td><td>定期的な安全管理対策</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>事故発生当日の安全管理対策</td><td colspan="6"></td></tr>
</table>

（R7.4.1版）

付則　９　　段階確認及び事務手続き実施要領

（R7.４.1改定）

付則９　段階確認及び事務手続実施要領

１．段階確認の趣旨
　段階確認は、いわき市水道局が施行する工事において、工事完了後に不可視となる部分等の手戻り防止のため、施工段階の確認事項（工種・細別・確認時期・確認項目）について、監督員等が立会により確認し、工事の適正な履行を確保するものである。

２．段階確認の対象工種
　段階確認は、別紙１「段階確認一覧表」の工種､また確認のフローは別紙２「段階確認標準フロー」を標準とするが、監督員と受注者との協議により決定し実施することとする。

３．段階確認の実施及び注意事項について

① 監督業務の一部である段階確認は、監督員として指名された技術職員が行うものとし、その工事を所管する課所の係長職以上の技術職員は、監督員が行う段階確認について管理しなければならない。
② 現場管理に伴う段階確認は、別紙１「段階確認一覧表」 によるものとする。また、３.①後段の職員は監督員が行う段階確認に適時同行し、その業務について確認するとともに、必要に応じて助言、指導を行うものとする。
③ 監督員は、確認立会又は施工状況把握を行った結果は、別紙３「監督員チェックリスト」及び　いわき市水道局工事監督員執務要綱第１０条の規定に基づく第1号様式　「施工体制のチェックリスト」により記録しておくものとする。
④ 監督員は、工事が完成し、書類の提出を受けた際には、３.③で作成した記録に基づき、別紙4「竣工書類チェックリスト」により確認し検査員に提出するものとする。

４．工事打合せ簿の取扱いについて
　指示、協議、通知、承諾、提出、届出は、約款及び共通仕様書で書面により行うことと規定しており、共通様式として「工事打合せ簿」を使用する。工事打合せ簿に関する発議から保管までの流れは、次のとおり。

(1)発注者が発議するもの・・・指示、協議、通知
① 監督員が発議し決裁欄で決裁を受けた原本を受注者に渡す。
② 受注者は発議内容に対する処理又は回答を記入し、捺印又はサインしたものを発注者に返却する｡受注者は写しを保管し、原本は監督員が保管するものとする。
③ 監督員が現場で指示する場合等、急を要するものは、監督員の指示内容とそれに対する現場代理人の回答を記入した工事打合せ簿を２部作成(手書きで２部作成する他、カーボン紙やコピーによる複写も可)し、双方が確認してサインしたものをその場で取り交わすこと。
また、受注者はその写しを保管し、監督員は原本を持ち帰り決裁を受けたものを保管するものとする。
④ 工事内容の変更に関するものは指示のみで処理できないため、工事内容変更伺いと併せて使用すること。

(2)受注者が発議するもの・・・協議、承諾、提出、届出
① 現場代理人が発議、捺印した原本を監督員に渡す。
② 監督員は、発議内容に対する処理又は回答を記入し、その写しを受注者に渡し、原本は監督員が保管する｡事前に決裁が必要なものは速やかに決裁を受け、ワンデーレスポンスに努めること。

(3) 施工計画書及び変更施工計画書
① 施工計画書は打合せ簿により受注者から提出される。
② 施工計画書の内容について別紙５「施工計画書チェックリスト」により審査し、不備のある場合は訂正を指示し、再提出を求める。

③ 工事着手後、施工計画書の内容に変更のあった場合、受注者からは
変更に係るページのみが打合せ簿で提出される。
④ 変更になるページは、上端に変更年月日を記載する。
⑤ 監督員は、先に提出された施工計画書のファイルに変更分を随時
追加して決裁を受け、常に現場状況に合致した施工計画書として
適切に管理する。
⑥ 工事完成検査時には監督員の保管する施工計画書を検査員に提示
するものとする。

５．確認書の取扱いについて

指定材料の確認・立会、段階確認等の施工状況の確認・立会、施工状況の把握を記録する場合は、共通様式として「確認書」を使用する。確認・立会願の提出から確認・立会い結果書の通知までの流れは以下のとおり。

また、工事完成検査時には監督員の保管する確認書(原本)を検査員に提示するものとする。

(1)材料の確認

① 現場代理人は、設計図書において監督員の確認を受けることとしている
工事材料の確認・立会願及び材料検査願を監督員に提出する。
確認・立会願には現場代理人の捺印は要らない。
② 監督員は、確認の方法、立会いの日時等を現場代理人と協議する。
③ 確認の方法は、立会いにより、その内容について設計図書との
適合を確かめる。
④ 確認の結果は、結果判定欄に**「合格」**又は**「不合格」**と記入し、
不合格の場合は指示事項欄に「工事現場外に搬出すること」等を記入し、
完了年月日を指示すること。
また、記事欄に確認した品名、材料名を記入する。
⑤ 指示事項があった場合は、指示事項に対する処置が完了したことを
確認することとし、確認年月日を記入する。
⑥ 確認書は、立会者・監督員が捺印し決裁を受けた原本を監督員が保管し、
その写しを受注者が保管するものとする。
⑦ 受注者は、材料検査前に試験掘の結果を踏まえ、施工図（管割図）を
作成し、提出すること。（試掘の結果に伴い、設計に変更が必要な場合
は、協議・指示を工事打合せ簿・工事内容変更伺いにより、事前に整理
しておくこと。）
⑧ 資材等の承諾は、汎用品のものについては、施工計画書に製造会社及び
製品名を記載することとして、仕様書及び承認図の提出を省略することが
できる。ただし、監督員が必要と認めた資材については、仕様書及び承認図
を打合せ簿により承諾を得ること。
また、商社（資材取扱代理店)の出荷証明書の提出は要しない。

※汎用品の資材は、「第２章 材料 2.4.5配管材料規格表」による。

(2)施工状況の確認(段階確認を含む)

① 現場代理人は、共通仕様書及び特記仕様書で監督員が確認又は立会う
とした施工段階の確認(段階確認を含む)を受ける場合は、確認・立会願を
監督員に提出する。確認・立会願には現場代理人の捺印は要しない。
② 監督員は、確認の方法、立会いの日時等を現場代理人と協議する。
③ 確認の方法は、 原則立会いとするが、やむを得ず机上となる場合は確認に
必要な管理記録、写真等の資料(社内検査結果を含む）を提出する。
④ 確認の結果、設計図書と現場の状況が一致している場合は、確認立会
結果書の結果判定欄に**「確認済」**と記入する。また、記事欄には確認した
測点番号、範囲等を記入する。
⑤ 確認の結果、設計図書と現場の状況が一致していない場合は、その是正
を打合せ簿で指示し、確認・立会結果書の指示事項欄にその内容を記録する。
⑥ 指示事項があった場合は、指示事項に対する処置が完了したことを確認する
こととし、確認年月日を記入する。

(3)施工状況把握

① 施工状況、使用材料について、監督員が設計図書との適合を自ら認識するため、適宜書類や臨場等により把握し、必要に応じて結果を監督員チェックリストに記録する。

② 受注者からの確認・立会願は必要としない。

③ 施工状況の把握に関する確認・立会結果書は、受注者への通知は必要としない。

④ 施工状況の把握において、指示する事項があった場合は、工事打合せ簿により指示するものとする。

これにより、「平成20年10月21日付　20水総号外　水道施設工事に係る監督体制の充実見直し等について」は、廃止する。

廃止項目

① 管材の仕様書、承認図の承諾

② 商社（資材取扱代理店）の出荷証明書の提出

③ 材料検査確認番号の明示

段階確認一覧表

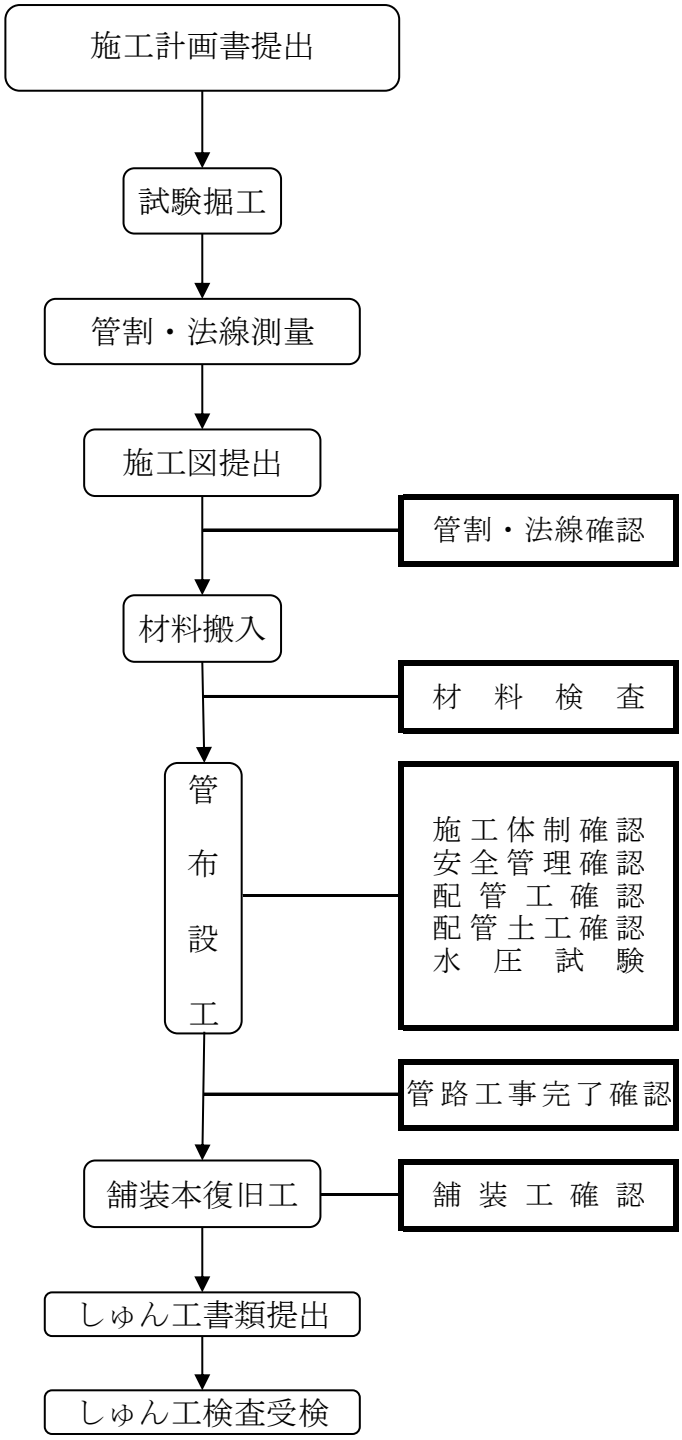
種　別	細別	確認時期	確認項目	確認の頻度
準備工	管割・法線 (中心線)	管布設工事前	1. 布設位置の確認 2. 管割（施工図）の確認 3. 仕切弁、空気弁等の位置	当初及び変更時
	配管材料	材料使用前	1. 数量、品質 2. 製造年度 3. 日水協の刻印 4. 養生方法	当初及び変更時
	埋戻材	工事前	購入土、骨材の品質	１回以上/１工事
施工体制	各種標識	工事前	1. 建設業の許可票 2. 施工体系図 3. 建退共加入標識	１回以上/１工事
安全管理	安全施設	工事前	工事名表示板、道路占用、 使用許可条件	１回以上/１工事
	各種標識	工事前		１回以上/１工事
	交通誘導員	施工中		１回以上/１工事
配管工	布設位置	管布設後	1. 基準箇所からの離れ 2. 土被り	１００ｍに１回 箇所毎に１回
	管接合工	施工中	1. 接合状況 2. 締付トルク 3. ｺﾞﾑ輪の出入り（継手ﾁｪｯｸ） 4. EF接合状況 5. 融着面の清掃、切削	１回以上/１工事
	不断水穿孔工	試験後	水圧試験	１回/１箇所
	水圧試験	試験後	水圧試験	１回/１箇所
	挿口加工 管端防食処理	施工中	加工・処理状況	１回以上/１工事
	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ （溶剤浸透防護 ｽﾘｰﾌﾞ）	施工中	1. 継手部のラップ長 2. ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞの固定間隔	１回以上/１工事
	管表示テープ	施工中	粘着ﾃｰﾌﾟによる固定間隔	１回以上/１工事
	ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰ	施工中	粘着ﾃｰﾌﾟによる固定間隔	１回以上/１工事
	仕切弁、空気弁、 消火栓	施工後	1. ｷｬｯﾌﾟの中心位置 2. 弁の中心位置	１回以上/１工事
配管土工	床掘	床掘後	幅、深さ	１回以上/１工事
	砂基礎	施工後	厚さ	１回以上/１工事
	埋戻	施工中	砂、砕石の層厚	１回以上/１工事
	路盤工	施工中	層圧	１回以上/１工事
	仮復旧工	施工後	擦り付け、仕上り状況	１回以上/１工事
	簡易土留工	施工前、中	1. 矢板長 2. 施工延長	１回以上/１工事
管路工事 完了確認	管布設工事後	舗装復旧前	1. 弁類の据付等 2. 舗装本復旧の幅員等	１回/１工事
舗装工	路盤工	施工完了時	幅、厚さ ※３点管理を行う。	２００ｍに１箇所 箇所毎に１回
	乳剤散布	施工完了時	乳剤散布状況	２００ｍに１箇所 箇所毎に１回
			乳剤散布量	１回以上/１工事
	養生砂	施工完了時	養生砂掃取状況	１回以上/１工事
	表層、基層	舗設時	1. 使用材料 2. 敷均締固状況 3. 舗設温度	１回以上/１工事

※上記は、開削工法による一般的な水道工事を対象にしたものであり、これにより難い場合は、福島県土木部工事監督員執務綱　段階確認一覧に準じるものとする。

※「確認の頻度」は確認頻度の目標であり、実施にあたっては工事内容及び施工状況等を勘案の上、監督員と協議し設定する。

※確認の方法は，原則立会いとするが，やむを得ず机上となる場合は確認に必要な管理記録，写真等の資料（社内検査結果を含む）の提出を求めるものとする。

段　階　確　認　標　準　フ　ロ　ー



※監督員は、舗装本復旧の手戻りを無くすため、必ず行うこと。

※このフロー図は、標準例を示したものであり、現場条件によって適宜判断すること。

監督員チェックリスト

工事発注課所

工事番号

工事名	○○配水管(第000-000号外)改良工事
受注者	いわき市○○字○○　地内
立会日時	令和　年　月　日（　）　午前・午後　時　～　時
立会者氏名	
測定地点	NO.　+　m　～　NO.　+　m

（考査項目）

使用材料	□	1 製造年度を確認	年度
	□	2 日本水道協会の証印を確認	□ 適正　□ 不適
	□	3 管種の確認	□ 適正　□ 不適
	□	4 接合形式の確認	□ 適正　□ 不適
	□	5 外面（塗装、傷、錆等)の状況を確認	□ 適正　□ 不適
	□	6 内面(エポキシ樹脂粉体塗装等)の状況を確認	□ 適正　□ 不適
	□	7 使用材料の保管（養生）状況を確認	□ 適正　□ 不適
	□	8 数量の確認	□ 適正　□ 不適
	□	9 使用骨材(砂、砕石、As合材)の確認(試験成績表)	□ 適正　□ 不適
施工状況及び現場管理	□	1 施工計画書との確認	□ 適正　□ 不適
	□	2 現場代理人の確認	□ 適正　□ 不適
	□	3 主任技術者の確認	□ 適正　□ 不適
	□	4 配管資格者の確認	□ 適正　□ 不適
	□	5 使用材料を確認	
		□ ア　配管材料	□ 適正　□ 不適
		□ イ　骨材	□ 適正　□ 不適
	□	6 配水管布設位置の確認	
		□ ア　基準箇所からの離れ	設　W=　m　測　W=　m
		□ イ　基準面からの土被り	設　H=　m　測　H=　m
	□	7 給水管布設状況の確認	□ 適正　□ 不適
	□	8 埋戻し状況の確認	
		□ ア　床均し及び管側面転圧(タコ付)	□ 適正　□ 不適
		□ イ　砂１層当り転圧厚さ	設　t = 50cm　測　t =　cm
		□ ウ　砕石１層当り転圧厚さ	設　t =　cm　測　t =　cm
	□	9 路盤工の施工状況の確認	
		□ ア　上層路盤１層当り転圧厚さ	設　t =　cm　測　t =　cm
		□ イ　下層路盤１層当り転圧厚さ	設　t =　cm　測　t =　cm
	□	10 配管接続状況の確認	□ 適正　□ 不適
		□ ア　締め付けトルク確認	設　N･m　測　N･m
		□ イ　チェックゲージ確認	設　mm　測　mm
		□ ウ　EF接合部の清掃、切削	□ 適正　□ 不適
		□ エ　融着接合、冷却時間	□ 適正　□ 不適
	□	11 仕切弁の設置状況確認(スピンドルの位置)	□ 適正　□ 不適
	□	12 空気弁の設置状況確認(ﾚﾊﾞｰの向き、据付位置)	□ 適正　□ 不適
	□	13 消火栓の設置状況確認(放水口の向き、据付位置)	□ 適正　□ 不適
	□	14 ﾎﾟﾘｽﾘｰﾌﾞ(溶剤浸透防護ｽﾘｰﾌﾞ)の被覆状況確認	□ 適正　□ 不適
	□	15 管明示ﾃｰﾌﾟ、ﾛｹｰﾃｨﾝｸﾞﾜｲﾔｰの施工状況確認	□ 適正　□ 不適
	□	16 工事看板の設置状況確認	□ 適正　□ 不適
	□	17 保安施設の設置状況確認	□ 適正　□ 不適
	□	18 交通誘導員の配置状況確認(警備検定合格者の有無)	□ 適正　□ 不適
	□	19 仮設工の設置状況確認	
		□ ア　矢板工の設置	設　L=　m　測　L=　m
		□ イ　ウエルポイントの設置	設　L=　m　測　L=　m
	□	20 仮復旧工（擦り付け、仕上り状況)	□ 適正　□ 不適
	□	21 管路工事完了確認	□ 適正　□ 不適
	□	22 水圧試験	□ 適正　□ 不適
	□	23 既設管接続状況確認	□ 適正　□ 不適
	□	24 路盤検査	
		□ ア　不陸整正状況	□ 適正　□ 不適
		□ イ　上層路盤幅	設　W=　m　測　W=　m
		□ ウ　上層路盤下がり	設　t =　cm　測　t =　cm
		□ エ　上層路盤出来形	設　t =　cm　測　t =　cm
		□ オ　下層路盤出来形	設　t =　cm　測　t =　cm
	□	25　□ ア　乳剤散布状況	□ 適正　□ 不適
		□ イ　乳剤散布量	□ 適正　□ 不適
	□	26 養生砂掃取状況	□ 適正　□ 不適
	□	27 表層（基層）舗設状況	
		□ ア　使用材料	□ 適正　□ 不適
		□ イ　敷均締固状況	□ 適正　□ 不適
		□ ウ　舗設温度	□ 適正　□ 不適

竣工書類チェックリスト（土木工事編）

工事名	○○配水管（第000-000号）改良工事

契約書に基づく書類一覧（竣工検査依頼に係る書類）

※時系列で整理する

☐ 現場代理人及び主任技術者、監理技術者の通知書(特例で現場代理人の緩和措置に注意)
※請負額3,500万円以上は専任の主任技術者(建築一式工事は、7,000万円以上)
※下請総額4,000万円以上は監理技術者(建築一式工事は、6,000万円以上)

☐ 工事工程表【契約締結日から14日以内】
☐ 当初　☐ 変更

☐ 建退共掛金収納書【購入金額は請負金額（税抜）の1.5/1000（水道工事の場合）】 ☐ 他の退職金制度証明(写し)
☐ 当初　☐ 変更

☐ 着工届(着工日前日までに提出) ※着手日(契約締結日から5日以内)に注意

☐ 施工体制台帳・施工体系図(下請契約を締結する全ての工事及び警備業務)
☐ 当初　☐ 変更　※添付書類は書類作成マニュアルを参照すること

☐ 下請通知書の提出(契約締結日から14日以内、変更があった場合は7日以内) ※下請契約を締結する全ての工種
※「下請契約」は「建設工事の請負契約」であるので、これに該当しない「資材納入」、「運搬業務」、「警備業務」などは含まない。

☐ 保菌検査報告書（6か月毎に提出 ※取水・導水・浄水・配水の各施設敷地内で作業する場合、工事着手前に提出
☐ 当初　☐ 追加　※すべての作業員及び社内検査員が報告対象

☐ CORINSの登録(請負額500万円以上の工事) ※「提示」でよいので打合せ簿は不要
☐ 当初　☐ 変更　☐ 竣工　※受注時、変更時、完成後　速やかに登録・提出（速やかに：概ね20日以内）
※変更登録は、工期・技術者に変更がある場合のみ。

☐ 工事現況報告書の提出(工期60日未満の場合は不要)

令和	年度	☐ 4 月分	☐ 5 月分	☐ 6 月分	☐ 7 月分	☐ 8 月分	☐ 9 月分
		☐ 10 月分	☐ 11 月分	☐ 12 月分	☐ 1 月分	☐ 2 月分	☐ 3 月分
令和	年度	☐ 4 月分	☐ 5 月分	☐ 6 月分	☐ 7 月分	☐ 8 月分	☐ 9 月分
		☐ 10 月分	☐ 11 月分	☐ 12 月分	☐ 1 月分	☐ 2 月分	☐ 3 月分

☐ 工事打合簿（協議・承諾・指示）　※変更内容の確認ができる資料(図面・写真等)と共に
☐ 工事内容変更伺い
☐ 工事内容変更通知書（発注者・受注者の押印がある本書を添付）

☐ 材料検査願　☐ 当初　☐ 変更　※検査請求日から7日以内に検査を実施する

☐ 建設産業廃棄物処理報告書
☐ 集計表(任意様式)　☐ 産業廃棄物管理票 建設系廃棄物ﾏﾆﾌｪｽﾄE票(写し) ☐ 計量票(写し) ※必要な場合
☐ 再生資源利用〔促進〕実施書(建設資材搬入・建設副産物搬出) ※電子ﾃﾞｰﾀと共に提出

☐ 建設業退職金共済制度実施報告書
☐ 建設業退職金共済証紙受領書(写し)　☐ 建退共辞退届 受注者分　☐ 他の退職金制度証明(写し)受注者分
☐ 建退共辞退届 下請分　☐ 他の退職金制度証明(写し)下請分

☐ 下請負報告書(下請発注状況の完成日、検査日、引渡日、支払日等の記載確認)下請契約工期、金額の整合性確認

☐ しゅん工届

☐ 工事写真
☐ 撮影者名確認　☐ 社名確認　☐ インデックスシール貼付　☐ 水圧試験チャート紙本書添付

☐ 竣工図(出来形図)　☐ 施工部分赤着色
☐ 設計値と実測値の対比を2段書き（下段：設計値(黒)　上段：実測値(赤)）
☐ 共通仕様書 第6章その他 付則6 工事竣工図作成要領により作成
☐ 図面は県土木設計マニュアル（設計積算編）により折りたたみ、図面袋に入れて提出

☐ 工事検査依頼書

☐ 工事成績評定表(第1号様式)(竣工検査時は、第一・第二評定者のみ記入し担当課所長まで押印したものを添付、検査後第三評定者記入の評定表と差替え決裁する)
☐ 工事成績採点表(第2号様式)　☐ 考査項目別集計表(第4号様式)　☐ 考査項目別採点表(第5号様式)
※契約金額500万円以上の工事は、評定表データを工事検査員に電子メールで送付する

☐ 竣工書類チェックリスト(本様式)

※チェックした本書を、しゅん工届決裁時に設計図書(契約関係書類)へ添付すること

課所長

竣工書類チェックリスト（土木工事編）

工事名	○○配水管（第000-000号）改良工事

その他書類一覧（別冊で整理）

※項目別で整理する

- □ 施工計画書
  - □ 当初　□ 再生資源利用[促進]計画書
  - □ 変更　□ 再生資源利用[促進]計画書
- □ 工事打合簿（協議・承諾・指示等）
  - ※ 工事内容に変更を生じない資料（承認図等）
  - □ 資材の承認図、仕様書等(必要に応じて)　□ 土質試験結果報告書
  - □ アスファルト混合物事前審査認定書　□ アスファルト混合物配合報設計告書
  - □ 路盤材料試験成績表
- □ 確認書（確認・立会願）
  - □ 確認・立合項目一覧(任意様式)
  - □ 監督員チェックリスト
- □ 施工管理（施工計画書に基づく施工状況）
  - □ 出来形管理
    - □ φ150mm以下の単独事業費工事
      - □ 掘削工　□ コアー採取試験結果表 ※竣工検査時に採取したコアーを提示する
      - □ 砂基礎工　□ 仮復旧
      - □ 埋戻工　□ 本復旧
      - □ 管布設工　□ 表層平坦試験
      - □ 路盤工、舗装工
    - □ φ200mm以上の配管工事及び補助事業に係る工事
      - □ 掘削工　□ コアー採取試験結果表 ※竣工検査時に採取したコアーを提示する
      - □ 砂基礎工　□ 仮復旧
      - □ 埋戻工　□ 本復旧
      - □ 管布設工　□ 表層平坦試験
      - □ 路盤工、舗装工
  - □ 品質管理
    - □ φ150mm以下の単独事業費工事
      - □ 日水協受検証明書、資材検査証明書　□ 各種機器類の検査調書又は使用書類
      - ※ JIS、JWWA規格品であり、監督員の臨場検査を受けたものは不要
      - □ 土の現場密度測定結果表　□ 上層路盤密度測定結果表
      - □ 継手チェックシート　□ 下層路盤密度測定結果表
      - □ アスフアルト密度測定結果表　□ 密度試験を延長200m毎に1回実施しているか（土と上層、下層路盤）
      - □ アスフアルト検温結果表（本復旧←X管理図←出荷時、到着時、舗設時）
    - □ φ200mm以上の配管工事及び補助事業に係る工事
      - □ 日水協受験証明書,資材検査証明書　□ 各種機器類の検査調書又は仕様書類
      - ※ JIS、JWWA規格品であり、監督員の臨場検査を受けたものは不要
      - □ 土の現場密度測定結果表　□ 上層路盤密度測定結果表
      - □ 継手チェックシート　□ 下層路盤密度測定結果表
      - □ アスフアルト密度測定結果表　□ 密度試験を延長200m毎に1回実施しているか（土と上層、下層路盤）
      - □ アスフアルト検温結果表（仮復旧・本復旧←X管理図←出荷時、到着時、舗設時）
- □ 安全対策関係書類（総括表のみ添付、本書は竣工検査時に提示）
- □ 社内検査（段階検査・下請引取り検査・竣工検査）
- □ 工事日報
  - □ 交通誘導警備員人数が適切か　※設計人数と実施人数を必ず確認し、赤チェック等を残す

※提出の指示があった場合

- □ 資材受払簿（配水管材、給水管材、骨材等）　※国庫補助金等に係る工事のみ

※ チェックした本書を、設計図書(その他の書類)の巻頭へ添付すること

施工計画書チェックリスト

確認日　令和　　年　　月　　日

工　事　名	○○配水管(第000-000号外)改良工事　(00○第0000号)

項　目	記載内容
工事概要	□ 工事名　□ 発注者名 □ 施工箇所　□ 受注者名 □ 工　期　□ 工事概要（主要工種） □ 請負金額　□ 工事目的の記述
計画工程表	□ 実施工程表　※不稼働日の設定、社内検査及び段階確認の予定日
現場組織表	□ 現場組織表 （現場における組織編成及び命令系統並びに業務分担がわかるように）
安全管理	□ 安全管理組織表 □ 工事安全教育及び訓練についての活動計画 （安全衛生協議会、新規入場者教育等） □ 労務管理計画 □ 作業主任者・資格者(配管資格者　一般、耐震を含め)の記述
主要機械※	□ 機械名　※工事に使用する主な機械を記載 □ 規格・性能　※『設計』『実施』に分けて記載 □ 使用工種・作業内容 □ 排ガス対策型の使用有無等の記述 □ 使用期間
主要材料※	□ 品名 □ 規格・寸法 □ 数量 □ 製造業者、納入業者及び搬入時期 □ 品質証明方法等の記述(日水協、JIS、社内検査)
施工方法※	□ 工事全体の流れを示す施工順序フロー図 主要工種における施工順序図、工事手順等の記述 (主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む)
施工管理計画※	□ 工程管理計画 □ 出来形管理計画 □ 品質管理計画 □ 写真管理計画
緊急時の体制及び対応	□ 24時間体制での緊急体制連絡表 □ その他災害パトロールを実施する場合の要件等の記述
交通管理※	□ 現場周辺の安全計画 □ 保安施設･交通誘導員(資格の有無)の配置計画及び体制毎の配置図 □ 運搬路の維持管理等の記述 □ ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸの過積載防止の記述 □ 交通事故防止の徹底(通勤、施工時、現場周辺)
環境対策※	□ 周辺住民とのトラブル防止、騒音・振動対策、水質汚濁対策、 ゴミ・粉じん対策、事業損失防止対策（家屋調査等）
現場作業環境の整備※	□ 仮設関係 □ 安全、営繕関係 □ イメージアップ対策等の記述
再生資源の利用促進と 建設副産物の適正処理方法	□ 再生資源利用計画書・利用促進計画書 □ 建設廃棄物処理委託契約書の写し（運搬・処分委託をした場合） □ 産業廃棄物収集運業・処分業許可証の写し □ 産廃処分場･残土捨場位置図、運搬経路図の添付 □ 残土捨場の同意書写し
その他※	□ 社内検査計画（段階確認含む）等の記述 □ 社内検査員の経歴書(10年以上の現場経験が確認できるもの) □ 作業員名簿及び資格証の写し □ 受注者作業員　□ 下請け者作業員 □ 添付されている保険証写しの保険者記号・番号のマスキング □ 項目毎にインデックスシール貼付 □ その他必要な事項

※印については、維持工事・小規模工事等簡易な工事において、監督員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

(R7.4.1版)